

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 A30		S/No.	
お買い上げ年月日		年 月 日	
		お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保証期間		対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年	
お客様	お名前		
	ご住所	〒 TEL ()	
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。	
故障内容記入欄			

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

3. ご転居で贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
(ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(チ) 本体内蔵のバックアップ電池やリモコンの電池・ディスプレイ・microSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※ 本書を紛失しないように大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

1 ボディタイプ
GPS アンテナ内蔵レーダー探知機

A30

取扱説明書

12V車専用

このたびは、弊社製品のレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、運転に関する多くの情報をドライバーに発信し、安全運転をサポートします。

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1941-B

必ずお読みください
使用の準備
取締りの三知識
基本的な使い方
カスタマイズ
各種サービス
その他

確認とご注意

安全上のご注意	3
使用上のご注意	7
GPS 測位機能について	9
受信可能な電波	9
画面の明るさ調節（フレックスディマー）	9
各部の名称と働き	10
付属品の確認	11
別売品のご案内	12

使用の準備

リモコンの準備	14
本機取り付け	15
電源コードの配線	19
メンテナンス（ヒューズの交換）	23
microSD カードの取り出し / 装着	25

取締りのミニ知識

取締りのミニ知識	26
1. スピード違反の取締り方法	26
2. 取締りレーダー波について	26
3. 取締りレーダー波を受信しにくい場合	27
4. ステルス型取締りについて	27

基本的な使いかた

電源 ON ～ OFF までの手順	28
マイキャンセルエリアを登録する	32
マイエリアを登録する	34
画面表示について	36
1. 待受画面	36
2. 各待受画面の説明	37
取締りレーダー波を受信すると	40
1. W アラーム（ダブルアラーム）	40
2. 後方受信	40

3. オートクワイアット	40
4. ミュート機能	40
5. 接近テンポアップ（電子音選択時のみ）	40
6. ステルス波を受信すると	41
7. レーダー波 3 識別（iDSP）について	41

GPS ターゲットに接近すると

警報ボイスについて

1. 左右方向識別ボイス	43
--------------	----

各種無線電波を受信すると

1. 無線 2 バンド受信機能	48
2. ベストパートナー 2 識別	48

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法

かんたんモード切替について

通常モード

1. 待受	50
2. モード	56
3. 警報	60
4. 画面	61
5. 音声	62
6. システム	63
7. OBD	64
8. 満タンスタート	65
9. 満タン補正	66
10. 係数補正	68

かんたんモード

各種サービス

ity.MAP サービスを活用する

その他

故障かなと思ったら

仕様

アフターサービス

お客様ご相談センター

保証書

裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

● 安全上お守りいただきたいこと

警告

- ⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

< 異常な状態の例 >

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
● P.78「アフターサービス」

- ⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

- ⚠ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

- ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。

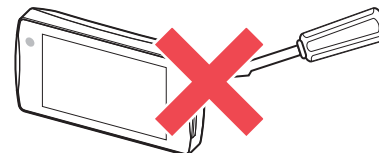
- ⊘ してはいけない「禁止」内容です。

- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

- 👉 関連するページを示します。

- ⊘ **サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

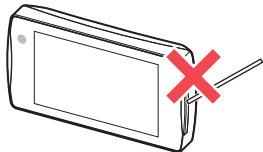
変色や変形、故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ❌ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。
感電や故障の原因となります。



- ❌ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠️ 注意

- ❌ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)
- ❌ 濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。
- ❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。



- ❌ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

- ⚠️ SD カードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠️ 警告

- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- ❗ 粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。
粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

- ❌ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

⚠️ 注意

- ❗ 取り付けは確実に行ってください。
また、定期的に点検を行ってください。
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

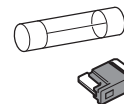
- ❗ 突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

● 電源コードについて

⚠️ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。
接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものに交換してください。



- ❌ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や感電の原因となります。



● リモコンについて

⚠️ 注意

- ❗ ボタン電池を充電したり、分解しないでください。破損や発火、故障の原因となります。
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ 付属のボタン電池は、動作確認用のサンプルです。
短時間の使用しかできませんので、お早めに新品の電池と交換してください。

- ❌ 長時間ご使用にならない場合は、ボタン電池を外して、保管してください。
ボタン電池が液漏れを起こし、故障させることがあります。また、衣類などを汚す原因となります。液漏れしたときには、液をよく拭きとってから、新しいボタン電池と交換してください。
- ❌ 使用済みのボタン電池を火中に投げ入れしないでください。
爆発して火災や火傷の原因となります。
- ❌ ボタン電池の極性 (+、-) を正しく入れてください。

● 本機の操作・運転について

⚠ 警告

❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

❗ 海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

● お手入れについて

⚠ 注意

❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

❗ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



● その他

⚠ 注意

❗ 車両から離れるときや使用しないときは、電源 OFF してください。

バッテリー上がりの原因となります。

● OBD II アダプター（別売品）について

⚠ 注意

❗ OBD II アダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。

ケーブルを傷つけ、感電やショートによる発火の原因となります。

❗ お手入れの際は、OBD II アダプターを抜いてください。

感電の原因となります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによるダッシュボードおよび車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ レーダーアラームに関する注意

- ・ 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・ 狙い撃ちの取締り機（ステルス型取締り機）は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・ レーダー波を使用しない速度取締り（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。

■ 無線 2 バンド受信機能に関する注意

- ・ カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、受信した音声を聞くことができません。
- ・ カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 2 識別は、はたらかません。

■ 取り付けに関する注意

- ・ GPS 衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・ 車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉により GPS 衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ 水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けしないでください。
- ・ 本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などに当たったり、はさまれないようにしてください。
- ・ 本機を道路に対して水平に、またレーダー / 無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、G センサー正しく動作しないことがあります。

■ 保証に関する注意

- ・ 本製品にはお買い上げ日から 3 年間の保証がついています。（ただし、リモコンやシガープラグコード、microSD カードなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。）

■ GPS 測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・フロントガラスをメタリックフィルムなどで着色している場合、GPS を測位できない場合があります。
- ・車載 TV を UHF56 チャンネルに設定していると、GPS 測位できない場合があります。UHF56 チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS 受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS 警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

■ 表示部に関する注意

- ・液晶ディスプレイを強く押したり、衝撃を与えないでください。本機の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶/パネルの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・液晶 ディスプレイを金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・液晶パネルは非常に高密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(1A)と交換してください。
- ・なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。

■ 画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24 時間表示です。12 時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度や GPS ターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPS や G センサー、VPS により計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・画面右下の時計表示は、GPS 非測位中と電源 ON 直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色に変わります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。

■ 別売品の電源直結コードで接続した場合

- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

■ 別売品の OBD II アダプターで接続した場合

- ・取り付け車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッション OFF してから本機の電源 OFF するまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機の OBD II アダプターが抜けている場合があります。その際は再度 OBD II コネクターへ本機の OBD II アダプターを挿し込んでください。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

GPS 測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

このシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LH システムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。

また、交通監視システムや N システム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、54 種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS54 識別]

1. クイック測位対応

前回電源 OFF にした時刻と自車位置情報を基に、GPS 衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位できます。さらに、「グロナス」「みちびき」に対応することで、より正確な自車位置を計測。



※次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機の電源 OFF してから 6 日間以上経過した場合。
- ・最後に本機の電源 OFF した時と、次に電源 ON した時の GPS 衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS 波の受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある(存在する)場所で本機の電源 ON した場合。

2. VPS(バーチャルポジショニングシステム)

GPS で、自車の進行方向を検知して、ルートのずれを補正します。GPS 非測位時には、VPS(バーチャルポジショニングシステム)が行う進行距離計算によってより高精度な警告をすることができます。

3. OBD II 車速検知 ※別売品の OBD II アダプターで接続時

GPS 電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。別売品の OBD II アダプターを接続することによる「OBD II 車速度検知」により、GPS 電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能です。

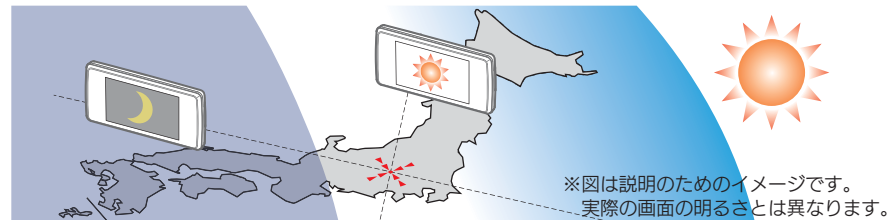
受信可能な電波

取締りレーダー波の X・K ツインバンドと GPS の 3 バンドの他に、無線 2 バンド受信をプラスし、5 バンド受信ができます。

$$\text{衛星} + \frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}} + \text{無線 2 バンド} = \text{5 BAND}$$

画面の明るさ調節(フレックスディマー)

夜間やトンネルなど周囲が暗いときは、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPS 情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。

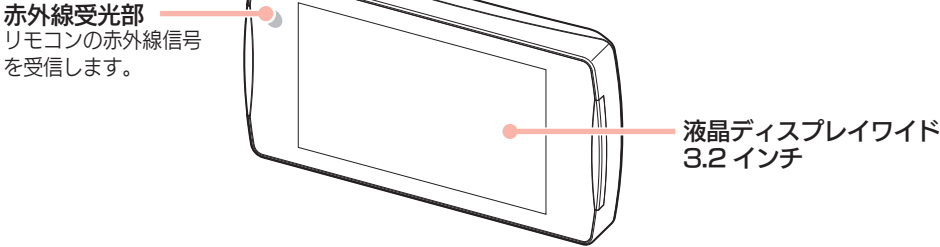


※図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさとは異なります。

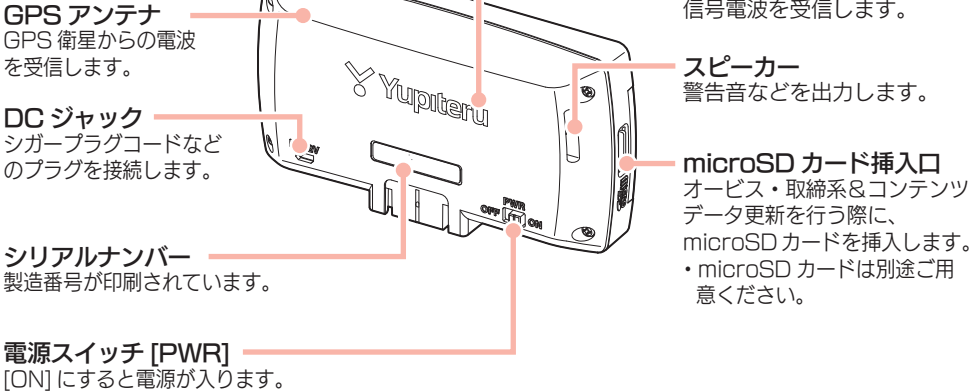
各部の名称と働き

■ 本機

正面

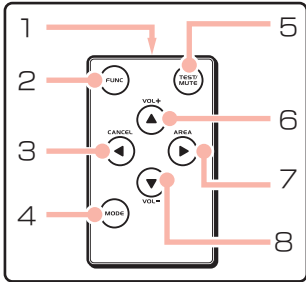


背面



※液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■ リモコン

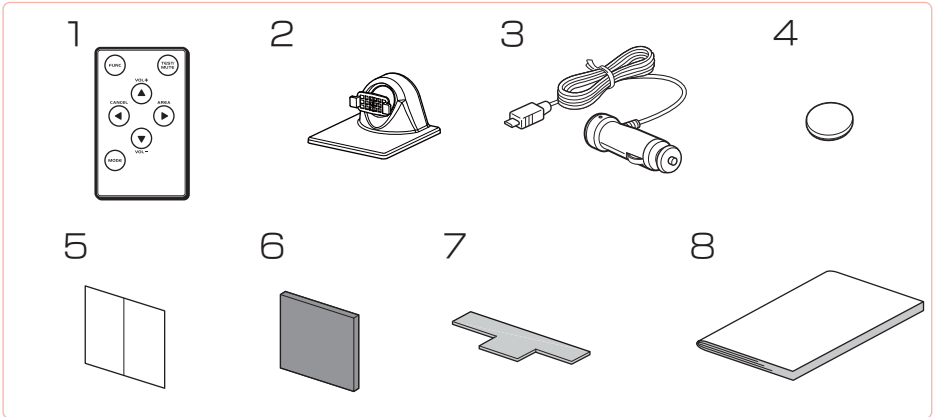


番号	名称	機能と参照ページ
1	赤外線発光部	本機に向けて使用します。
2	FUNC	地点の登録・ity. MAPを表示 (P.34、P.71)
3	◀	メニュー移動 (P.36)
4	MODE	設定メニューを表示 (P.30)
5	TEST/MUTE	設定メニューを表示・警報音の消音 (P.40)
6	▲	ボリューム上げる、メニュー移動 (P.30)
7	▶	メニュー移動 (P.36)
8	▼	ボリューム下げる、メニュー移動 (P.30)

付属品の確認

1. 付属品

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。



番号	名 称	説 明
1	リモコン (P.14)	本機を操作するためのリモコンです。
2	ダッシュボード取り付け用ブラケット (P.15)	本機を車両のダッシュボードに取り付けるためのブラケットで、取付角度を上下左右に調整できます。
3	シガープラグコード (約 3m)(ミニプラグ DC12V 出力)(P.20)	車両のシガーライターソケットから本機に電源を供給するためのコードです。
4	リモコン用ボタン電池 (P.14)	リモコン用の電池 (CR2016) です。
5	粘着シート	粘着マット使用時にダッシュボードに貼り付きにくい場合に使用します。
6	粘着マット	ダッシュボード取付用ブラケットをダッシュボードに固定します。
7	直付け用両面テープ	本機をダッシュボードに直接取り付ける場合に使用します。
8	取扱説明書・保証書 (本書)	裏表紙が保証書になっています。お買い上げいただいた販売店の店名・住所が記載されていることをご確認ください。記載されていない場合は、販売店に御確認ください。

※ 付属品の追加購入につきましては、 P.13 をご参照ください。

別売品のご案内

1. 別売品

お使いいただくことでより便利に、本機の性能を100%活用できるようになります。

※ 対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページの適応表にてご確認ください。

※ 対応車種であっても取り付けを推奨していない自動車メーカーもあり、お客様のご判断で取り付けを行ってください。

※ ディーラーに入庫する際は、OBD II アダプターを取り外してください。ディーラーによっては入庫を断られることがあります。

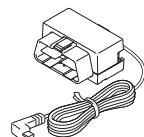
■ OBD II アダプター

シガープラグコードのかわりに本機への電源供給を行うと同時に、車両側の OBD II に関する情報を取り出して画面に表示させたり、より正確な警告を行うことができるようになるアダプターです。

本機は、OBD12-MⅢ、OBD-HVTM、OBD12-M、OBD12-MⅡの OBD II アダプターに対応しています

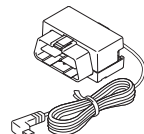
本書では個別の機種名を表記せず、OBD II アダプターと表記します。

● OBD II アダプター OBD12-MⅢ (約 4m) 本体 6,000 円+税



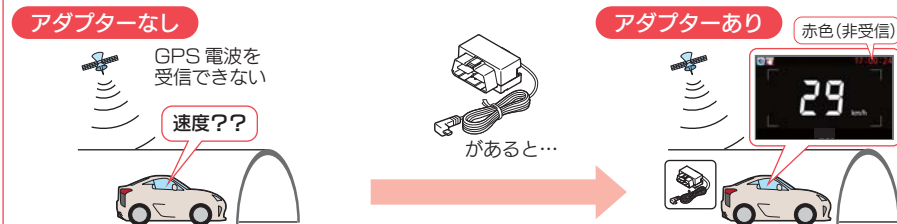
- ・車両側の OBD II 情報を表示できます。
- ・国産 8 社に対応
(トヨタ (ハイブリッド車含む)、日産、ホンダ、三菱、スバル、ダイハツ、マツダ、スズキ)

● トヨタハイブリッド用 OBD II アダプター OBD-HVTM (約 4m) 本体 8,000 円+税



- ・トヨタハイブリッド車専用
- ・車両側の OBD II 情報を表示できます。
- ・対応車種なら、2 つのアクティブ機能 (「車速感応ドアロック」「エマージェンシーシグナル」) やハイブリッド専用情報を表示できます。

トンネル内など GPS を受信できない場所では…



OBD II アダプター使用時は、右記製品は使用しません。

付属品



シガープラグコード

別売品



電源直結コード

警告

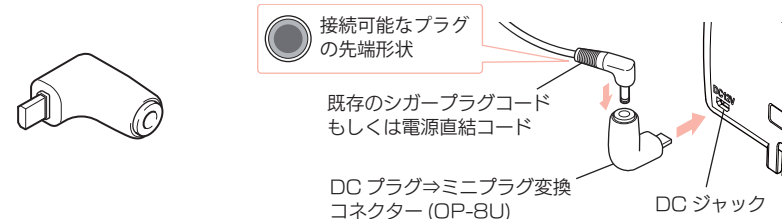
- ! 本機の DC ジャックは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。

注意

- ! OBD II アダプター使用時車種によっては画面表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページで OBD II アダプター適応表をご覧ください。
- ! OBD II アダプターには、対応車種が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページで OBD II アダプター適応表をご確認頂いてからお求めください。

■ DC プラグ⇒ミニプラグ変換コネクタ OP-8U 本体 800 円+税

DC プラグをミニプラグに変換するコネクタです。弊社レーダー探知機からの買い換えなどの場合に、既存の配線を使用できます。



下記のいずれかの製品で、新たに配線してください。

付属品



シガープラグコード

別売品



電源直結コード

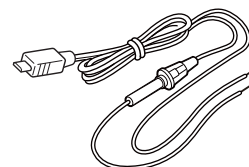
別売品



OBD II アダプター

■ 電源直結コード OP-9U 本体 1,500 円+税

シガープラグコードの代わりに車内のアクセサリ系端子から直接電源を取り出します。コードが目立たずに配線することができます。



コード長：約3m

電源直結コード (OP-9U) 使用時は、下記製品は使用できません。

付属品



シガープラグコード

別売品



OBD II アダプター

2. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX (機種名) 用 ○○ (必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。Yupiteru スペアパーツ ダイレクト 詳しくは、下記ホームページをご確認ください。 <https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

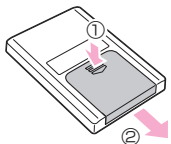
リモコンの準備

⚠ 警告

- ・ 使用済みの電池は、火中に入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。
- ・ 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

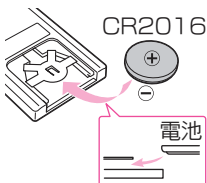
1. 電池を入れる

1-1 電池カバーを取り外す

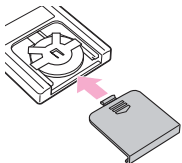


①の方向に押しながら、②の方向に引き出してください。

1-2 +マークを上に向け、電池を挿し込むようにして入れる



1-3 電池カバーをリモコンに取り付ける



1-4 本機の赤外線受光部に向けて操作してください

- ・ 直射日光のあたる場所には、長時間放置しないでください。
- ・ リモコン操作がしにくくなったら、電池寿命です。市販の新しいものと交換してください。
- ・ CR2016 以外の電池は、使用しないでください。
- ・ 寿命の目安としては、1 日 50 回程度の使用で約 1 年間ですが、1 年以内でも消耗することがあります。

本機取り付け

本機を使用する手順として「本機を取り付ける」「電源コードの配線」の手順に従って説明します。まず本機を取り付けます。下記の 2 通りの取り付け方法があります。

『1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける』

『2. 直付け用両面テープで取り付ける』(P.18)

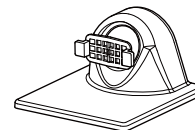
いずれかの方法で取り付けてください。

※ あらかじめ、取り付ける箇所の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

⚠ 注意

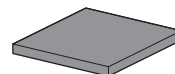
- ・ 取り付けにより、車両に跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ・ 両面テープの貼り直しは、しないでください。粘着力が弱くなり、本機をしっかりと固定できなくなります。
- ・ 水がかかったり、温度差が激しい場所 (エアコンの吹き出し口付近など) には、取り付けしないでください。

1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける



ダッシュボード取り付け用ブラケット

自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。
[特許出願中]

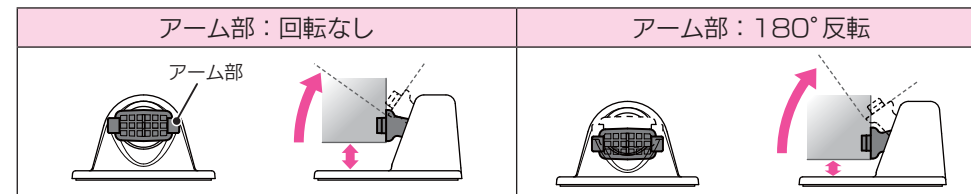


粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。
強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

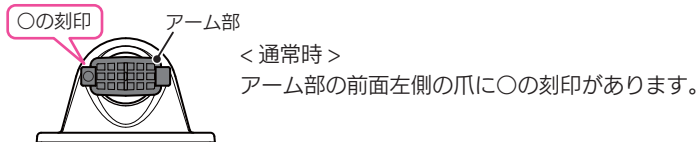
ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを 180° 変えることで、本機の取り付け高さを抑えることができます。

アームの向きを変えると、本機を起す角度は広がりますが、左右の調整角度は狭くなります。取り付け面の角度に応じて調整してください。

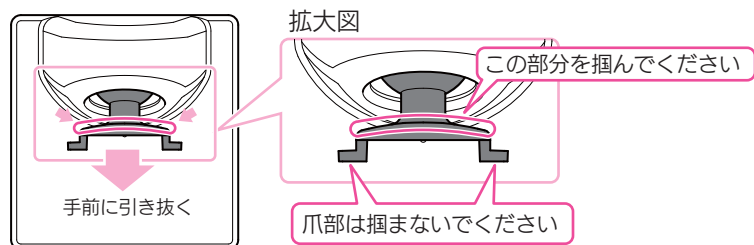


警告

！ 取り付け時のブレ防止のため、取り付けは固くなっています。ケガやブラケットの破損に、十分気をつけて行ってください。アーム部を取り外した際には、紛失に注意してください。



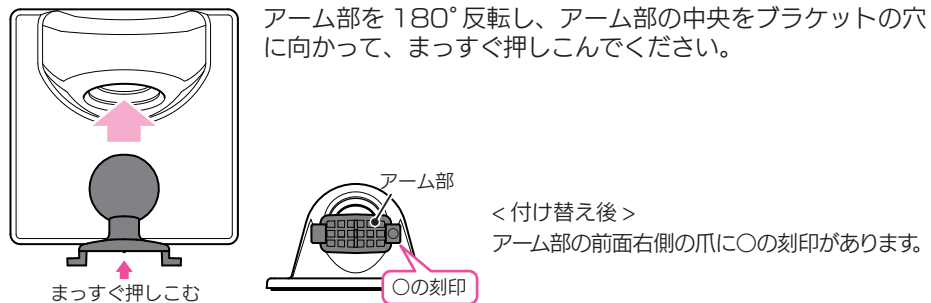
■ アーム部取り外し



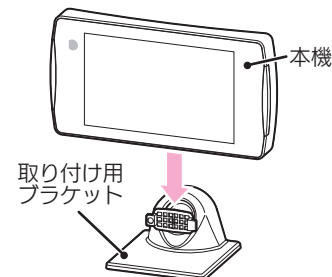
アーム部のツバの部分に布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると簡単に抜けます。爪部をつかむと爪が折れる場合があります。

※ 必ず布などの柔らかいもので保護してください。破損の原因となります。

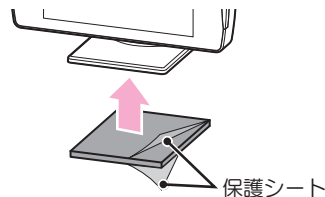
■ アーム部取り付け



1-1 本機の溝をブラケットに合わせ取り付け



1-2 保護シートを片面だけはがし、粘着マットをブラケットに貼り付ける

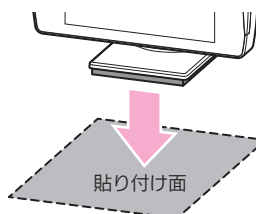


・粘着マットは水洗いできます。
ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

1-3 残りの保護シートをはがす



1-4 ダッシュボードの取り付け面に取り付ける

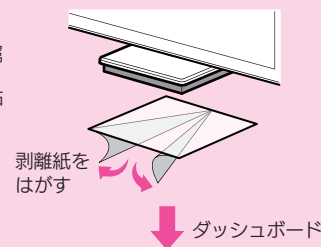


※ 本機を破損しないようブラケットを押さえて貼り付けます。

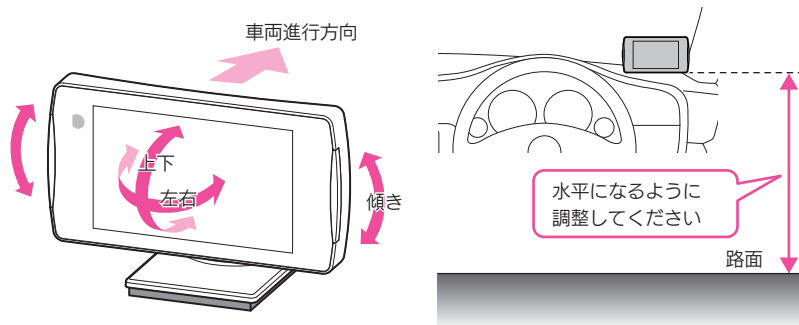
粘着シート [特許出願中]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属品の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。

それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ (厚さ 2mm 以上) を使用して取り付けてください。



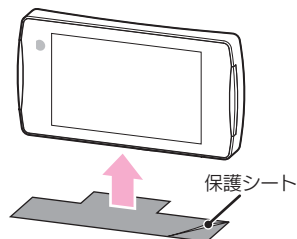
1-5 本機の背面が車両進行方向を向き、画面が見やすいように調整する



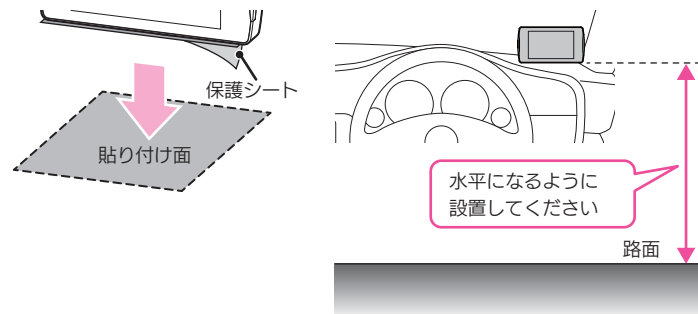
※ 本機背面が車両進行方向に向いていないと、G センサーが正常に作動しません。

2. 直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付ける

2-1 両面テープの保護シートを片面はがし、本機の底面にしっかりと貼り付ける



2-2 両面テープの保護シートをはがし、取り付け面に取り付ける



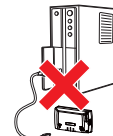
※ 両面テープは、貼り直すと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

電源コードの配線

警告



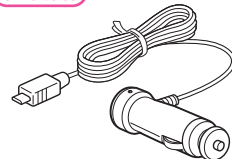
本機の DC ジャックは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。



DC ジャック
USB 端子ではありません。

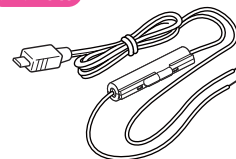
3 種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。

付属品



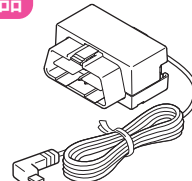
シガープラグコード
による配線 (●P.20)

別売品



電源直結コード
による配線 (●P.20)

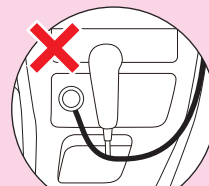
別売品



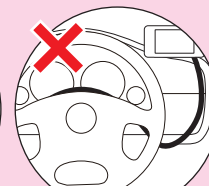
OBD II アダプターによる配線
(●P.22)

■ ご注意ください

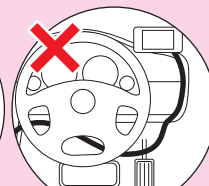
- ・ 特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。
- ・ コードが長くても、切って短くしないでください。



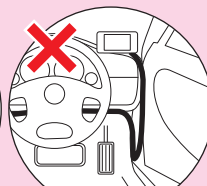
シフトレバー
操作の邪魔



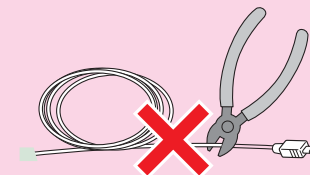
ハンドル
操作の邪魔



ペダル
操作の邪魔



コードの
挟み込み



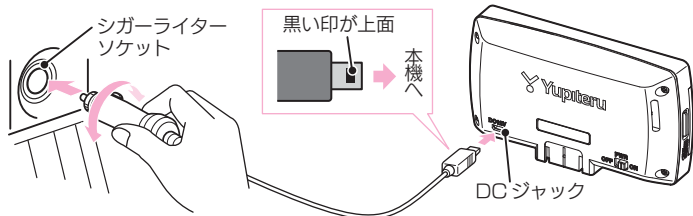
アドバイス

市販品のコード固定クリップでコードを固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



1. シガープラグコードによる配線 付属品

1-1 シガープラグコードを接続する



付属品のシガープラグコードを本機の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに接続します。

※ 市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。

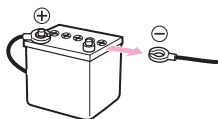
■ ご注意ください

一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コードか、OBDII アダプターをご使用ください。

2. 電源直結コードによる配線 別売品

⚠ 警告

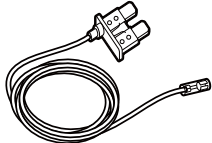
- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。



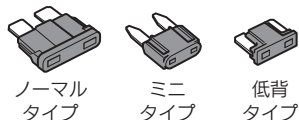
＜準備するもの＞

市販品

平型ヒューズタイプ
電源取り出しコード



※ ヒューズは、ノーマルタイプ・ミニタイプ・低背タイプがあります。平型ヒューズタイプ電源取り出しコードは、ヒューズの形状に合ったものを準備してください。

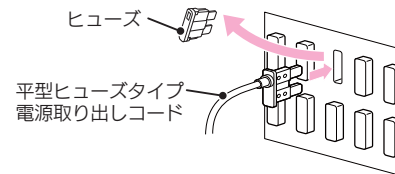


ノーマル
タイプ

ミニ
タイプ

低背
タイプ

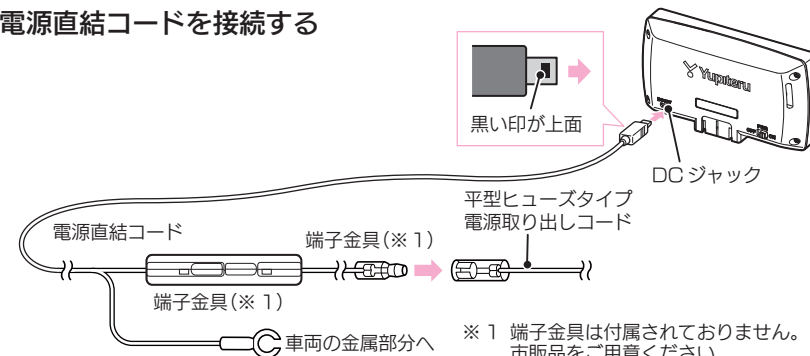
2-1 ヒューズを外し、平型ヒューズタイプ電源取り出しコードを差し込む



※ ヒューズの交換先は必ず、イグニッションキーを ACC 位置にした時に電圧が 12V、OFF で 0V になるヒューズと交換してください。

イグニッションキー	ACC 位置	OFF 位置
電圧	12V	0V

2-2 電源直結コードを接続する



電源直結コードを本体の DC ジャックと平型ヒューズタイプ電源取り出しコードに接続します。

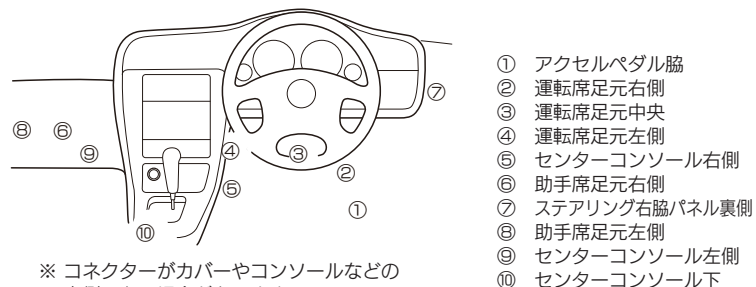
3. OBD II アダプターによる配線 OBD II アダプター 別売品

OBD II アダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBD II アダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新の適応表を参照ください。

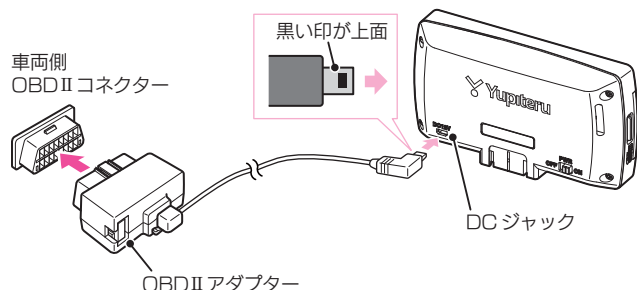
警告

故障の原因となりますので、必ずエンジンキーが OFF になっていることを確認してから、配線を行ってください。

OBD II コネクター設置箇所



3-1 OBD II アダプターを接続する



別売品の OBD II アダプターを本体の DC ジャックと車両の OBD II コネクターに接続する。

メンテナンス(ヒューズの交換)

接続状態でエンジンをかけ、本機の電源スイッチが ON の状態でも電源 ON にならない場合は、ヒューズ (1 A) が切れている可能性があります。

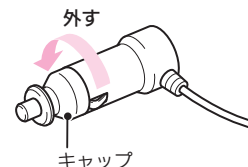
※ 交換時、ヒューズや部品を落下させないようにしてください。

1. シガープラグコード

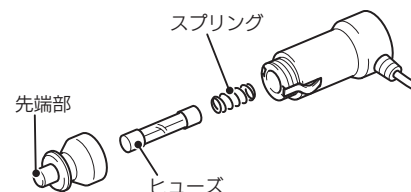
<準備するもの>

管ヒューズ：1 A (30 × 6.5mm)

1-1 キャップを外す



1-2 ヒューズを交換する



※ キャップ先端部が外れるので、落下に注意してください。

※ スプリングの紛失に注意してください。

1-3 キャップを閉める

2. 電源直結コード

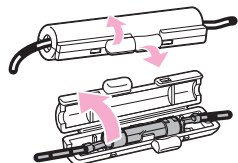
<準備するもの>

管ヒューズ：1 A (30 × 6.5mm)

注意

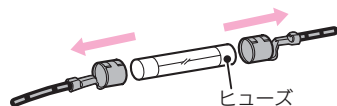
作業中のショート事故防止のため、接続するときは、車のバッテリーのマイナス端子を必ず、外してから接続してください。

2-1 ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出す

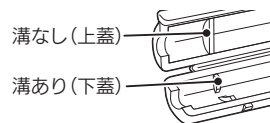
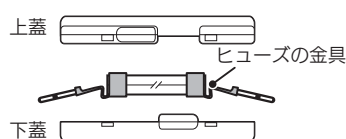


※ ヒューズはコードと一緒に取り出します。

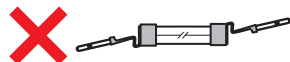
2-2 コードからヒューズを取り外し、交換する



2-3 新しいヒューズをヒューズホルダーに入れる



・下蓋の溝に合わせてはめ込みます。



※ ヒューズの金具は、上蓋に接触しないように、図の向きにしてください。
※ 金具の向きが違くと上蓋の突起に接触し、破損・故障の原因となります。

2-4 ヒューズホルダーを閉じる

※ コード等を挟み込まないようにしてください。

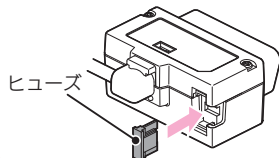
3. OBDⅡアダプター

＜準備するもの＞
低背ヒューズ：2A

3-1 OBDⅡアダプターをコネクターから外す

3-2 ペンチなどでヒューズを取り外す

3-3 新しいヒューズと交換する



microSD カードの取り出し / 装着

オービス・取締り系&コンテンツデータ更新をご利用の際には microSD カードが必要です。

オービス・取締り系&コンテンツデータ更新をご使用の際は、市販品の 8GB 以下 (2GB 以上推奨) の microSD(microSDHC) カードを別途ご用意ください。

※ microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

⚠ 注意

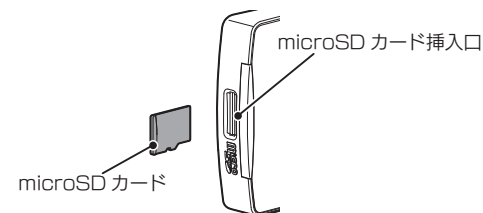
- ・ microSD カードの装着 / 取り外しは、必ず電源が OFF の状態で行ってください。
- ・ microSD カードは一方方向にしか入りません。無理に押し込むと、本機や microSD カードが壊れることがあります。
- ・ データ更新中は、絶対に microSD カードを抜かないでください。

1. microSD カードを装着する

1-1 電源 OFF する

車両のエンジンを OFF する。
画面が消え、電源 OFF します。

1-2 microSD カードを本機に挿入する



SD カード挿入口に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

※ SD カードアダプターの出し入れは、必ず電源 OFF の状態で行ってください。

- ・ microSD カードは本機専用でご使用ください。
- ・ microSD カードを取り出すときは、カードが少し飛び出してから引き出します。
- ・ microSD カードは、必ず取り外してご使用ください。接続したままの状態や、半分挿入した状態でご使用にならないでください。
- ・ microSD カードを取り外したあとは、各 microSD カードの説明書の指示に従って大切に保管してください。

取締りのミニ知識

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

1. スピード違反の取締り方法

大きく分けて 3 つの方法があります。

■ レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）

取締りレーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。

※ 対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



■ 距離と時間で算出する方法（光電管・ループコイル式オービス）

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

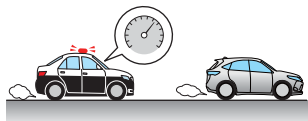
※ この方式は取締りレーダー波を発射しません。GPS ターゲットとして登録した場合のみ、警報できます。



■ 追走して測定する方法（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。

※ 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知できません。



2. 取締りレーダー波について

大きく分けて 3 つの方法があります。

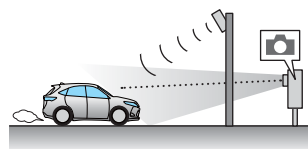
■ 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



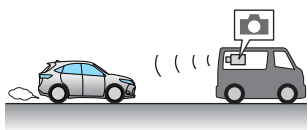
■ 自動速度取締り機（新 H システム、レーダー式オービス）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



■ 移動式

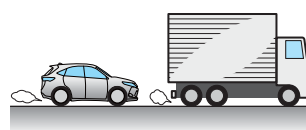
測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



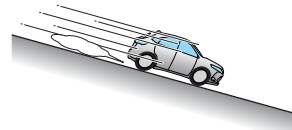
3. 取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- ・対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- ・前に走行している車両（特に大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、特にご注意ください。



〔前に走行中の車両がある場合〕



〔下り坂〕



〔コーナー〕

4. ステルス型取締りについて

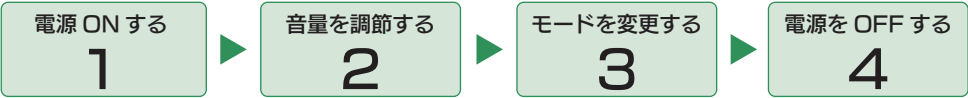
事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。



- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はご注意ください。
- ・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ・ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、すぐに使う場合、下記の手順に沿って操作を行ってください。



本機の初期値は次のようになっています。

設定項目	初期値	説明
モード設定	ノーマル	機能同士のバランスを重視した設定です。
待受画面	時計	マップ画面が表示されます。
受信感度モード	AAC / ASS	時速 30km 未満では、取締りレーダーに対する警報を行いません。また時速 30km 以上では速度が上がるにしたがって段階的に受信感度が上がっていきます。
レーダー警報音	メロディ 1	警報の発生時、オリジナルメロディが流れます。
i キャンセル	ON	誤警報を行うと、同じ地点の 2 回目以降の警報を自動でキャンセルします。
道路選択	オート	車両が一般道または高速道路どちらを走っているかを判別し、判別された道路の GPS ターゲットに対してのみ警報が行われます。 ※ 一般道と高速道が並行 / 交差している場所およびその周辺では、両方の警報を行うことがあります。また、渋滞等で高速道を低速走行すると、一般道と判別することがあります。
リラックスチャイム	2 時間	本機の連続電源 ON で、2 時間おきに『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声流れます。
時報	ON	毎時、正時に『午前 (午後) 〇〇時です。』と音声流れます。
明るさ	普通	画面の明るさ。「最小」～「明るい」間の「普通」になっています。

※ 初期値を変更する場合は、P.49 ～ 70「カスタマイズ」を参照ください。

1. 電源 ON する

1-1 エンジンキーを ON し、本機の電源スイッチを ON する



■ OBDⅡアダプターで配線を行った場合 OBDⅡアダプター

初めて OBDⅡアダプターを車両に取り付ける場合は、本機の起動に数分かかることがあります。

■ 測位に時間がかかる場合があります

次のような場合、本機の電源を入れてから『測位しました。』と音声流れるまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。
その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。



2. 音量を調節する

2-1 リモコンの[▲]、[▼]ボタンを押し、音量を調節する



※ [▲][▼] ボタンで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。
※ VOL7(最大) からさらに [▲] ボタンを押すと、『プブッ』と鳴ります。

■ マナーモード

音量を VOL0 (消音) から、さらに [▼] ボタンを押すと、マナーモードになります。音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。



※ マナーモードに入ると、約 2 秒後に画面表示が消え、音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。
※ マナーモードを解除するには、[▲] ボタンを押してください。

3. すべての機能を使う

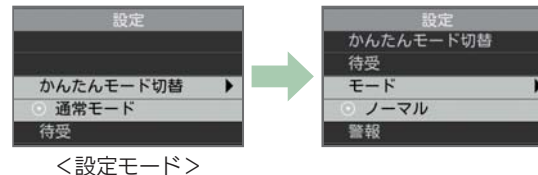
オールオンモードでお使いいただき、必要に応じて表示や警報内容をカスタマイズしてご使用ください。初期値は、「ノーマル」です。

3-1 リモコンの [MODE] ボタンを押す

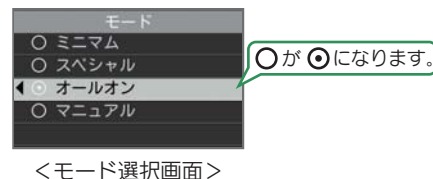


＜待受画面＞
設定メニューを表示させる。

3-2 [▼]ボタンを押し「モード」に移動し、[▶] ボタンを押し、「モード選択画面」を表示する



3-3 [▼]ボタンで「オールオン」に移動し [▶] ボタンで決定する



3-4 [MODE]ボタンを長押しする



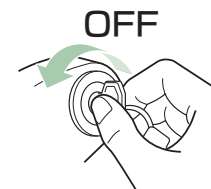
待受け画面に戻ります。
※ 設定は、1 度行えば、次の電源 ON 以降は必要ありません。

4. 電源を OFF にする

⚠ 注意

本機の電源OFFするときは、必ずエンジンキーをOFFにするか、本機の電源スイッチOFF (OBD II アダプター接続時は除く) にし、電源OFFしてください。
本機の電源OFFするためにコードを抜くと、故障の原因となったり、SDカード内のデータが消失する場合があります。

4-1 車両のエンジンキーを OFF にする



本機の電源が連動して OFF になります。

・エンジンキーを OFF にしても本機が電源 OFF にならない場合…
本機の電源スイッチを OFF にしてください。
※ 電源 ON の状態で放置すると、バッテリー上がりの原因となります。
※ OBD II アダプター使用時は、車種によって電源 OFF に数十秒かかる場合がありますが、本機の電源スイッチで OFF しないでください。

マイキャンセルエリアを登録する

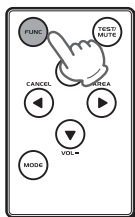
自動ドアなど、取締り機がないエリアでレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録し、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

※ 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア (P.34)、アイキャンセル (P.58) の合計で 10,000 箇所まで可能です。10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

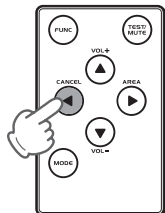
※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS54 識別 (P.43) や無線 2 バンド識別 (P.48)・ベストパートナー 2 識別 (P.48) の警報はキャンセルできません。

1. マイキャンセルエリアを登録する

1-1 登録したい地点で [FUNC] ボタンを押す



1-2 [◀] ボタンを押す



・GPS を受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき…
「GPS をサーチ中です」とお知らせしたあとに、「GPS を受信できません」とお知らせします。

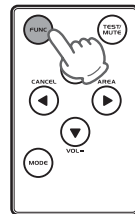
「マイキャンセルエリアにセットしました」とお知らせし登録されます。

・マイキャンセルエリアに進入すると…

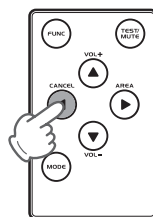
登録したキャンセルエリアのポイントから半径約 200m のエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

2. 登録したマイキャンセルエリアを解除する

2-1 マイキャンセル登録されているエリアで [FUNC] ボタンを押す



2-2 [◀] ボタンを押す



・すべてのマイキャンセルエリアを解除(消去)したい場合…
P.63「データ消去」

「マイキャンセルエリアを解除しました」とお知らせし解除されます。

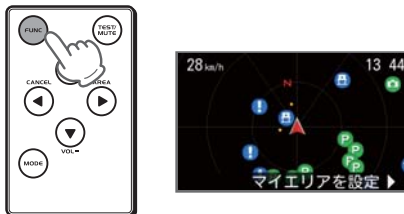
マイエリアを登録する

新たなポイントをマイエリアとして登録し、2 回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

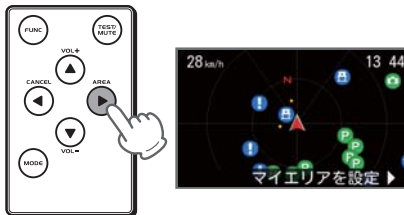
※ 登録数は、マイエリア、アイキャンセル (P.58)、マイキャンセルエリア (P.32) の合計で 10,000 箇所まで可能です。10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

1. マイエリアを登録する

1-1 登録したい地点で [FUNC] ボタンを押す



1-2 [▶] ボタンを押す



・GPS を受信できず、マイエリア登録できなかったとき…
「GPS をサーチ中です」とお知らせしたあとに、「GPS を受信できません」とお知らせします。

「マイエリアをセットしました」とお知らせし、登録されます。

・マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約 1km / 500m と通過時の 3 段階で警告します。

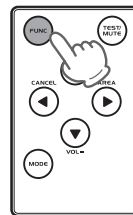
〈手前約 1km (500m) のとき…〉

『右(左)方向 1km (500m) 先 マイエリアです』とお知らせします。

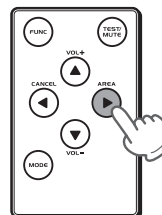
・GPS 測位状況や走行ルートによって、距離の告知 (『1km 先』、『500m 先』) を『この先』や『300m 先 / 200m 先 / 100m 先 / すぐ先』とお知らせすることがあります。

2. 登録したマイエリアを解除する

2-1 マイエリア登録されているエリアで [FUNC] ボタンを押す



2-2 [▶] ボタンを押す



・すべてのマイエリアを解除 (消去) したい場合…
P.63「データ消去」

「マイエリアを解除しました」とお知らせし、解除します。

・経度・緯度について

緯度・経度を表示させ、ity. MAP サービス (P.71) をご活用いただけます。

※ 必ず、車両を止めてから操作してください。

＜表示方法＞

- ①リモコンの [FUNC] ボタンを長押しする
- ② ity. MAP を表示と表示されるまで数回押す
- ③表示されたら [FUNC] ボタンを長押しする



- ・表示部に QR コードと緯度 (N)・経度 (E) を約 1 分間表示します。
- ・表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- ・GPS 非測位のときは、緯度・経度は表示できません。
- ・戻るときは、リモコンのいずれかのボタンを押してください。
- ・表示させたまま 1 分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

画面表示について

1. 待受画面

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は、9種類および「ローテーション」と「OFF」が用意されています。別売品のOBDⅡアダプター(P.22) で接続した場合に、より多くの情報が表示できるようになります。待受画面を変更する時は、リモコンの[◀][▶] ボタンを押します。待受画面が順番に切り替わります。



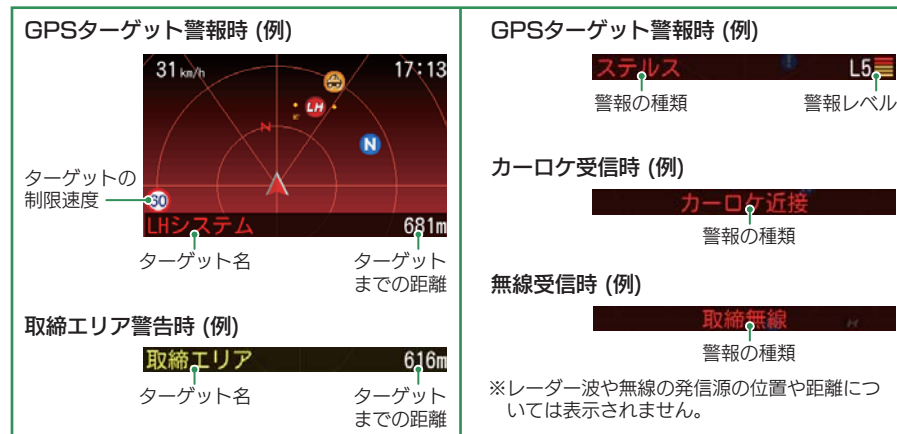
- ・初期値は、「時計」です。
 - ・日付および時刻は、GPS 測位機能により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。
 - ・GPS 非測位時は右上の時計色が赤色になります。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
 - ・時刻の表示は、24 時間表示です。
 - ・走行速度は GPS の情報に基づき表示します。別売品の OBDⅡ アダプターで接続した場合は、OBDⅡ 車速情報に基づき表示します。また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ※ OBDⅡ 接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※ 補正機能はありません。

2. 各待受画面の説明

ターゲット表示について

警報時には、画面下に情報をお知らせします。レーダースコープ待受では自車とターゲットの位置関係がわかります。

※ 待受画面「OFF」では表示しません。



アイコン表示について



No.	表示名	アイコン	表示の意味
①	方位磁針表示		衛星を測位後に表示し、走行すると赤色の針が北方向を指します。 (停車状態のままでは針が青色で動きません。)
②	GPS サーチ中表示		電源を ON 後に衛星を測位するまでの間や、測位した後一定の間衛星を受信できなくなった場合に点滅表示します。
③	カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接受信時と圏内判定中に点滅表示します。
④	取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で点滅します。
⑤	駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。 左：駐禁最重点エリア、右：駐禁重点エリア
⑥	車上狙い多発エリア		車上狙い多発エリア内で表示します。
⑦	ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。

レーダースコープ

現在地周辺の、本機に登録されたターゲットに近づくと、現在地との位置関係をイメージで表示し、お知らせします。



- ・制限速度表示は、オービス（ループコイル / LH システム / 新 H システム / レーダー式オービス）と一部の取締エリア警報時に表示します。
- ・表示される時刻・速度・距離は、衛星の受信状況により、ずれることがあります。
- ・走行速度やターゲットまでの距離、自車アイコンは、衛星や VPS により計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合があります。
- ・衛星の電波を受信できなくなった場合、現在時刻表示が赤色になり、速度が表示されなくなります。
- ・画面上に地図・地名・道路・建物等は表示しません。

カレンダー

日付を表示します。

※ 衛星の受信状況により合わない場合があります。



時計

現在時刻を表示します。右上に速度表示します。

※ 衛星の受信状況により合わない場合があります。



速度

車両速度を表示します。

※ 速度の数値は衛星の受信により合わない場合があります。



エコドライブ

急加速、急減速、アイドリング時間、経済速度などからエコポイントを算出し、表示します。

- ・GPS 測位できない場合は、各項目の採点は行いません。
- ・GPS 電波を受信できない場合でも、各項目の採点を行います。**OBD II アダプター**
- ・速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。

- ・エコドライブのデータ消去を行うと、各ポイントが初期値の70ptになります。(P.63)

※ 実際の交通規制に従って走行してください。

※ データ消去を行うと、元には戻せませんので、ご注意ください。

※ 各ポイントを個別にリセットすることはできません。



評価項目	評価基準
急加速	急加速と判断するとポイント (pt) を減点します。(初期値: 70pt)
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント (pt) を減点します。(初期値: 70pt)
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント (pt) を減点します。(初期値: 70pt)
経済速度	時速 60km 前後での走行と判断するとポイント (pt) が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント (pt) を減点します。(初期値: 70pt) ※ 実際の交通規制に従って走行してください。
総合ポイント	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント (pt) の平均を算出します。

測位情報

衛星の受信状況を表示します。

青: GPS

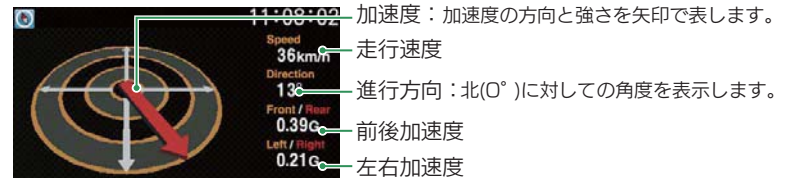
オレンジ: グロナス

緑: みちびき、ひまわり、GAGAN、その他 SBAS

※ 受信している衛星の受信レベルと衛星ナンバーを順に表示します。衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。



G センサー



※ 加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。

プリセット A / B

プリセットは、それぞれ配置、項目を自由に選択でき、好みの画面を作ることができます。(P.50「プリセット画面の項目変更」)

A / B それぞれプリセットし、画面選択で呼び出すことができます。



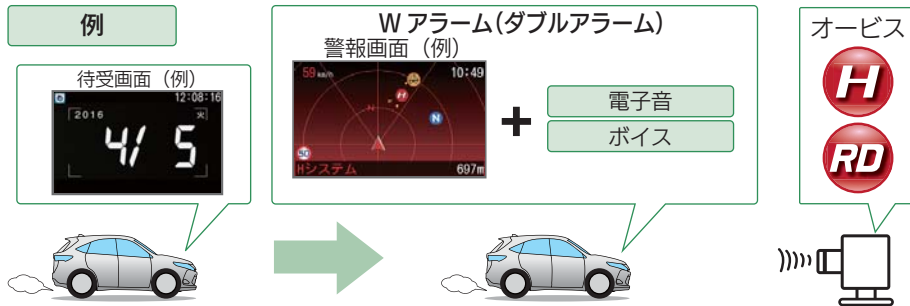
< プリセット A >

< プリセット B >

取締りレーダー波を受信すると…

警報・告知を行うマップ画面に切り替わります。

※「表示切替距離」(P.50)で、「切替なし (待受固定)」を選択の場合は、画面が切り替わりません。



1. W アラーム(ダブルアラーム)

音(電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディ)と画面表示のダブルで警報します。

2. 後方受信

iDSP による超高精度識別およびエクストラの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

3. オートクワイアット

レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

4. ミュート機能

警報中にリモコンの「TEST/MUTE」を押すと、受信中の電波が受信できなくなるまで警報音を一時的に消すことができます。

5. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)

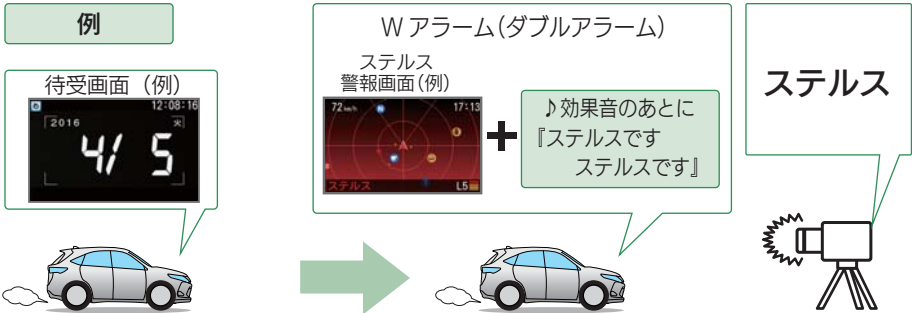
取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音	『ピロ・ピロ』 → 『ピーーーー』 断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	L1 → L5 レーダー波の受信レベルが変化します。

6. ステルス波を受信すると

警報を行うマップ画面と専用の警報ボイスで警告します。

※「表示切替距離」(P.50)で、「切替なし (待受固定)」を選択の場合は、画面が切り替わりません。



『ステルスです。ステルスです。』と警報したあと、通常の警報音 (メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音)の警報になります。

7. レーダー波 3 識別 (iDSP) について

レーダー探知機機能は、iDSP/ 統合的デジタル信号処理技術 (Integrated Digital Signal Processing Technology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル (P.58) により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

【ステルス識別】

【アイキャンセル：特許 第 3902553 号、第 4163158 号】

・ iDSP はステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

■ ステルス波



■ 通常レーダー波



■ キャンセル告知



・ レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
・ 新 H システムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

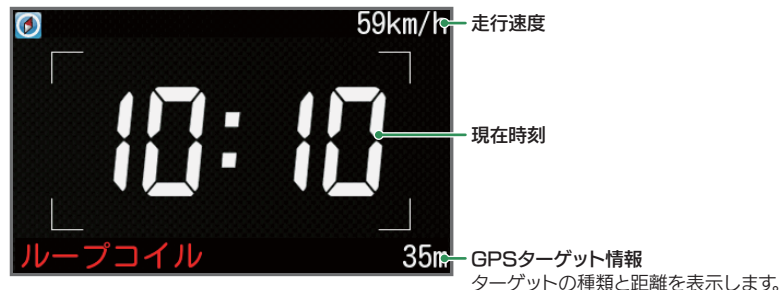
GPS ターゲットに接近すると…

1. GPS ターゲット警告

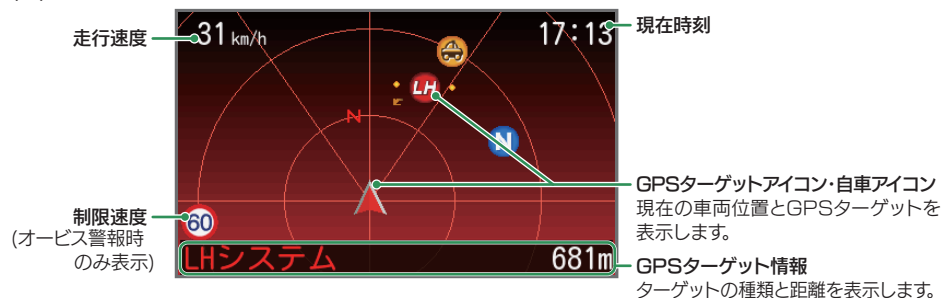
本機に登録されたGPSターゲットに近づくと、待受⇄レーダースコープ切替(1000m/500m)(P.50)のときは、待受画面からターゲットの存在をお知らせするレーダースコープに切り替わります。走行している道路の先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。

※「表示切替距離」(P.50)で、「切替なし(待受固定)」を選択の場合は、画面が切り替わりません。

(例)時計



(例)レーダースコープ



- ・制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警告時に表示します。
- ・表示される時刻・速度・距離はGPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。
- ・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、VPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・GPS非測位時、推定速度は表示しません。

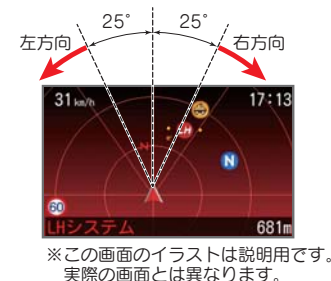
警報ボイスについて

1. 左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

・ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。



ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)				
	※GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。				
オービス5段階警報	2km(高速道のみ)	1km	500m	直前	通過
LC(ループコイル)	『2km先』警報	『1km先』警報	『500m先』警報	通過告知	
LH(新Hシステム)		制限速度告知	カメラ位置告知	直前走行速度告知	
H(LHシステム)		速度超過告知	速度超過告知	速度超過告知	
RD(レーダー式)				制限速度切替告知	

※1km手前では制限速度もお知らせします。普通自動車の制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。

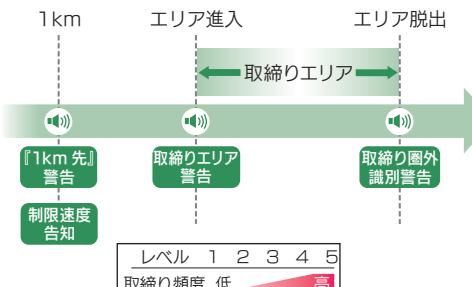
※500m手前ではカメラ位置もお知らせします。

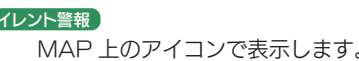
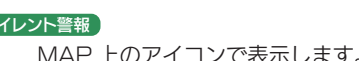
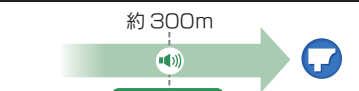
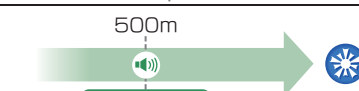
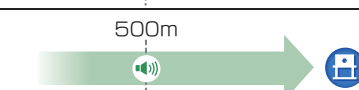
※直前では走行速度告知も行います。

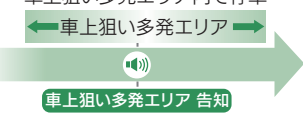
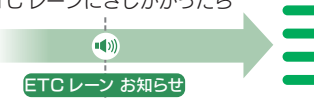
※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。

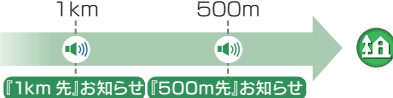
※トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。

※トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。

ターゲットの種類		 お知らせするタイミング (距離)	
※ GPS の受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。			
取締りエリア		 (移動オービス)  (速度取締り)  (追尾式取締り)  (交差点取締り)  (その他取締り)  ※ 1km 手前では左右方向もお知らせします。 ※ レーダー探知機能に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。 ※ トンネル内追尾式取締りエリア、「トンネル出口直後速度取締りエリア」から脱出した場合は、取締り圏外識別警告は行いません。 ※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない取締りエリアは、制限速度告知を行いません。	
STOP (一時停止取締り)		 ※ レーダー探知機能にに登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。	
検問エリア		 (シートベルト検問)  (携帯電話検問)  (飲酒検問)  (その他の検問)  (検問エリア内で点灯) (レーダースコープ内には表示されません。)	
(交差点監視ポイント)			
(信号無視抑止システム)			
(高速交通警察隊)			

ターゲットの種類	 お知らせするタイミング (距離) ※ GPS の受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なります。	
(駐車監視エリア)  (レーダースコープ内には表示されません。)		※ レーダー探知機能に登録されている違法駐車取締りガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車するとお知らせします。
(一時停止注意ポイント) 		※ 東京都 23 区 / 名古屋市内 / 大阪市内の一時停止ポイントが登録されています。
(マイエリア) 		※ 移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどをマイエリアとして自由に登録できます。
(ゾーン 30 エリア) 		※ ゾーン 30 エリアに入るとお知らせします。
(ラウンドアバウト) 		
(N システム) 		※ N システム：自動車ナンバー読み取り装置
(交通監視システム) 		※ 交通監視システム：画像処理式交通流計測システムなど
(警察署) 		
(交番) 		

ターゲットの種類	 お知らせするタイミング (距離) ※ GPS の受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
 (事故多発エリア)	約 300m 	
(車上狙い多発エリア)  (車上狙い多発エリア内で点灯) (レーダースコープ内では表示されません。)	車上狙い多発エリア内で停車  車上狙い多発エリア 告知	※ レーダー探知機能にに登録されている車上狙い多発域内で停車すると、お知らせします。
 (踏切)	サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている踏切ポイントのアイコンを表示します。
 (急(連続)カーブ) (高速道路のみ)	カーブにさしかかったら 	※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。
 (分岐(合流)ポイント) (高速道路のみ)	分岐にさしかかったら 合流にさしかかったら 	※ GPS の受信状況や G センサーの動作状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。
 ETC (ETC レーン) ※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	ETC レーンにさしかかったら 	※ ETC レーンの位置によって「右側 / 左側 / 中央 / 両サイド」でお知らせします。 ※ 交通量や時間による ETC レーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。
※ 実際の料金所のブースの配置と説明イメージが異なる場合があります。その場合は実際の標識にしたがって進入してください。		
 SA (サービスエリア)  PA (パーキングエリア)  (ハイウェイオアシス)	1 km  『1km 先』お知らせ 『スマートインターチェンジ』お知らせ 『ガステーション』お知らせ	※ サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせを OFF に設定すると、スマートインターチェンジ、ガステーションのお知らせも行いません。
 (長い(連続)トンネル) (高速道路のみ)	1 km 500m 	

ターゲットの種類	 お知らせするタイミング (距離) ※ GPS の受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
 (ハイウェイラジオ) (高速道路のみ)	 受信エリア	※ ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。
 (県境) (高速道路および主要一般道路のみ) ※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	 〇〇県 □□県	※ 県境に接近するとお知らせします。 ※ 全ての道路の県境が登録されているわけではありませんのであらかじめご了承ください。
 (道の駅)	1 km 500m 	
 (ビューポイントパーキング)	1 km 500m 	
 (駐禁エリア付近駐車場)	サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている駐車場のアイコンを表示します。
 (消防署)	サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている消防署のアイコンを表示します。
 (公衆トイレ)	サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている公衆トイレのアイコンを表示します。

各種無線電波を受信すると…

本機は、取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

衛星 + Xバンド/Kバンド + 無線2バンド = 5 BAND

■ 無線発信源の位置を表示することはできません

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線2バンド受信機能

無線の種類	説明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム) 🔊 『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ圏外です』※ ※ カーロケ無線の発信源が遠ざかった可能性が高いとき	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締り無線 🔊『取締り無線です』	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。 ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。

2. ベストパートナー2識別

カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

【圏外識別：特許 第3780262号】

■ ベストパートナー機能を使用するには…

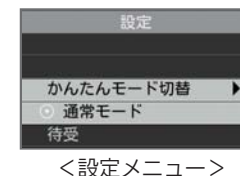
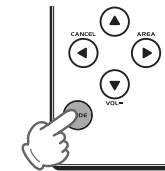
モード(🔊 P.56)をすべて「ノーマル」「スペシャル」「オールオン」のいずれかにします。

※ モードが「ミニマム」の状態では、ベストパートナー機能がはたしません。

無線の種類	説明
カーロケ遠近識別 🔊『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき
カーロケ圏外識別 🔊『カーロケ圏外です』	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

設定メニューの表示方法

待受画面でリモコンの[MODE]ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。



<設定メニュー>

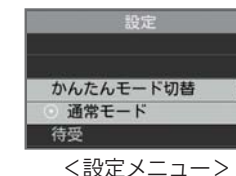
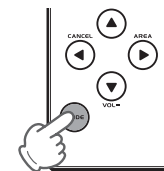
かんたんモード切替について

本機には詳細に設定できる「通常モード」(🔊 P.50)と、かんたん設定のみのシンプルな「かんたんモード」(🔊 P.70)があります。使用用途に合わせて切り替えてください。

1. かんたんモード切替手順

● 例として「通常モード」から「かんたんモード」へ切り替えます。

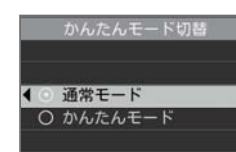
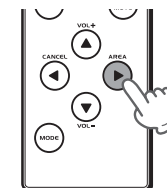
1-1 待受画面でリモコンの[MODE]ボタンを押す



<設定メニュー>

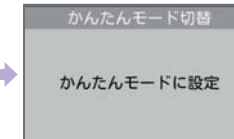
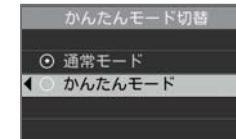
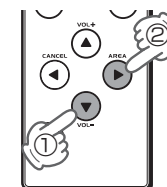
設定メニューを表示させる。

1-2 [▶] ボタンを押す



<かんたんモード切替画面>

1-3 [▼] ボタンを押し「かんたんモード」選択し、[▶] ボタンを押す



かんたんモードに切り替わり、自動で設定メニューに戻ります。

※ [▶] ボタンの代わりに[Test/MUTE]ボタンでも決定できます。

通常モード

本機の機能を詳細に設定できます。

※「かんたんモード」(P.70) から「通常モード」に切り替えると、かんたん設定にない項目(「明るさ」「レーダー警報音」以外)は前回設定した「通常モード」の設定になります。

リモコンの[MODE] ボタンを押す

※別売品のOBD II アダプターの接続が必要です。



1. 待受

警報の表示切替距離やプリセット画面で表示する項目をプリセットごとに設定できます。項目は OBD II アダプターで接続すると最大 127 項目から選択できます。

※ 車両により、表示できない項目は選択できません。

待受 — 警報画面 ★: 初期値

表示切替距離 ▶ プリセット A ▶ プリセット B
プリセット A とプリセット B の項目の配置を変更します。

- ★切替なし
- 500m
- 1000m

■ 表示切替

GPS ターゲットに接近したときに、待受画面からレーダースコープに切り替わるタイミングを変更できます。

500m、1000m	ターゲットまでそれぞれの距離になった時に、待受画面からレーダースコープに切り替わります。
切替なし (待受固定)	待受画面を表示したまま、レーダースコープに切り替わりません。 ※ 待受画面がレーダースコープの場合は画面は変化しません。

■ プリセット画面の項目変更

表示したい項目を選択します。

※ 表示できない項目は文字がグレーになり選択できません。



< プリセット A >

< プリセット B >

● 項目変更手順

※ 例としてプリセット A の 1 段目 R を「GPS 受信数」に変更する手順を説明します。

1-1 待受画面でリモコンの [MODE] ボタンを押す



< 設定メニュー >

設定メニューを表示させる。

1-2 [▼] ボタンを押し「待受」を選択し、[▶] ボタンを押す



< 待受設定画面 >

1-3 [▼] ボタンを押し「プリセット A」を選択し、[▶] ボタンを押す



※ L: 左側の項目です。
R: 右側の項目です。

1-4 [▼] ボタンを押し「1 段目 R」を選択し、[▶] ボタンを押す



1-5 「衛星」の項目まで [▼] ボタンを押し、[▶] ボタンを押す



1-6 「GPS 受信数」の項目まで [▼] ボタンを押し、[▶] ボタンを押す



□ に✓が入ります。

待受画面 プリセット A の 1 段目右側に [GPS 受信数] が表示します。

※ [▶] ボタンの代わりに [TEST/MUTE] ボタンでも決定できます。

● プリセット A、プリセット B 表示項目

プリセット A、プリセット B 画面内で選択できる項目です。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
速度	1	速度		現在の速度
	2	平均速度		今回の速度の平均速度
	3	一般道平均速度	要	今回の一般道平均速度
	4	高速道平均速度	要	今回の高速道平均速度
	5	最高速度		今回の最高速度
	6	5 秒速度	要	発車から 5 秒後の速度
	7	平均 5 秒速度	要	発車から 5 秒後の速度の平均値
	8	最高 5 秒速度	要	発車から 5 秒後の速度の最高値
走行時間	9	走行時間	要	今回の停車していない時間
	10	運転時間	要	今回の運転時間
	11	停車時間	要	今回の停車時間
走行比率	12	走行比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率
	13	1-20km/h 走行比率	要	1-20km/h の範囲での走行時間
	14	20-40km/h 走行比率	要	20-40km/h の範囲での走行比率
	15	40-60km/h 走行比率	要	40-60km/h の範囲での走行比率
	16	60-80km/h 走行比率	要	60-80km/h の範囲での走行比率
	17	80-100km/h 走行比率	要	80-100km/h の範囲での走行比率
	18	100km/h 以上走行比率	要	100km/h 以上の範囲での走行比率
	19	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率
	20	今回エンジン走行比率	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率
	21	生涯エンジン走行比率	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率
エコドライブ 1	22	エコ総合ポイント		エコドライブ画面の総合ポイント
	23	エコ加速ポイント		エコドライブ画面の加速ポイント
	24	エコ減速ポイント		エコドライブ画面の減速ポイント
	25	エコ経済速度ポイント		エコドライブ画面の経済速度ポイント
	26	エコアイドルポイント		エコドライブ画面のアイドルリングポイント
	27	アイドルリング停止時間 ^{※1}	要	エンジン停止時間
	28	最小アイドル停止時間 ^{※1}	要	最小エンジン停止時間
	29	最大アイドル停止時間 ^{※1}	要	最大エンジン停止時間
	30	アイドルリング時間	要	車速 0 でエンジンが掛かっていた時間

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
エコドライブ 2	31	エンジン始動回数	要	今回エンジンを始動した回数
	32	アイドルリング停止回数 ^{※1}	要	エンジン停止回数
	33	0-10 秒停止回数 ^{※1}	要	0-10 秒の停止回数
	34	10-20 秒停止回数 ^{※1}	要	10-20 秒の停止回数
	35	20-30 秒停止回数 ^{※1}	要	20-30 秒の停止回数
	36	30 秒以上停止回数 ^{※1}	要	30 秒以上の停止回数
	37	0-10 秒停止比率 ^{※1}	要	0-10 秒の停止比率
	38	10-20 秒停止比率 ^{※1}	要	10-20 秒の停止比率
	39	20-30 秒停止比率 ^{※1}	要	20-30 秒の停止比率
	40	30 秒以上停止比率 ^{※1}	要	30 秒以上の停止比率
加速度	41	前後加速度		前後方向の加速度
	42	左右加速度		左右方向の加速度
	43	最大加速度		最大の加速度
	44	最大減速度		最大の減速度
	45	最大左右加速度		最大の左右加速度
加速時間	46	0-20km/h 加速時間	要	0-20km/h 加速にかかった時間
	47	0-40km/h 加速時間	要	0-40km/h 加速にかかった時間
	48	0-60km/h 加速時間	要	0-60km/h 加速にかかった時間
	49	0-80km/h 加速時間	要	0-80km/h 加速にかかった時間
	50	0-100km/h 加速時間	要	0-100km/h 加速にかかった時間
	51	0-20km/h 平均加速	要	0-20km/h 加速にかかった平均時間
	52	0-40km/h 平均加速	要	0-40km/h 加速にかかった平均時間
	53	0-60km/h 平均加速	要	0-60km/h 加速にかかった平均時間
	54	0-80km/h 平均加速	要	0-80km/h 加速にかかった平均時間
	55	0-100km/h 平均加速	要	0-100km/h 加速にかかった平均時間
圧力	56	相対インマニ圧	要	インマニ圧の相対値
	57	最大相対インマニ圧	要	インマニ圧の最大相対値
	58	絶対インマニ圧	要	インマニ圧の絶対値
	59	最大絶対インマニ圧	要	インマニ圧の最大絶対値
	60	ブースト圧	要	ブースト圧の相対値
	61	最大ブースト圧	要	ブースト圧の最大値
燃費	62	瞬間燃費	要	瞬間の燃費
	63	今回燃費	要	今回走行時の平均燃費(注 1)
	64	最大今回燃費	要	今回走行時の最大燃費(注 1)
	65	平均燃費	要	OBDII アダプターで接続後の平均燃費(注 1)
	66	一般道平均燃費	要	OBDII アダプターで接続後の一般道平均燃費(注 1)

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
燃費	67	高速道平均燃費	要	OBDⅡアダプターで接続後の高速道平均燃費(注 1)
	68	生涯燃費	要	OBDⅡアダプターで接続後の平均燃費(注 2)
	69	移動平均燃費	要	16km 区間での平均燃費
	70	最大移動平均燃費	要	16km 区間での最大移動平均燃費
燃料	71	燃料流量	要	燃料の流量
	72	平均燃料流量	要	今回走行時での平均燃料流量
	73	最大燃料流量	要	今回走行時での最大燃料流量
	74	残燃料	要	残りの燃料
	75	燃料レベル	要	残りの燃料レベル(割合)
	76	今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料
	77	消費燃料	要	OBDⅡアダプターで接続後の消費燃料(注 1)
	78	生涯消費燃料	要	OBDⅡアダプターで接続後の消費燃料(注 2)
距離	79	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離
	80	走行距離	要	OBDⅡアダプターで接続後の走行距離(注 1)
	81	生涯走行距離	要	OBDⅡアダプターで接続後の走行距離(注 2)
	82	今回エンジン走行距離	要	今回走行時のエンジン走行距離
	83	生涯エンジン走行距離	要	OBDⅡアダプターと接続後のエンジン走行距離
温度	84	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度
	85	最高エンジン水温	要	エンジン冷却水の最高温度
	86	吸気温	要	エンジンの吸気温度
	87	最高吸気温	要	エンジンの最高吸気温度
	88	外気温	要	外気の温度
	89	最高外気温	要	外気の最高温度
	90	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度
	91	最高エンジン油音	要	エンジンオイルの最高温度
エンジン	92	スロットル開度	要	エンジンのスロットル開度
	93	平均スロットル開度	要	今回走行時の平均スロットル開度
	94	最大スロットル開度	要	今回走行時の最大スロットル開度
	95	エンジン負荷	要	現在のエンジン負荷
	96	平均エンジン負荷	要	今回走行時の平均エンジン負荷
	97	最大エンジン負荷	要	今回走行時の最大エンジン負荷
	98	MAF	要	エンジンに吸気される空気量
	99	INJ	要	インジェクション噴射時間
	100	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期
	101	回転数	要	エンジン回転数
	102	平均回転数	要	今回走行時の平均回転数
	103	最高回転数	要	今回走行時の最高回転数

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
衛星	104	全衛星受信数		現在の全衛星受信数
	105	GPS 受信数		現在の GPS 受信数
	106	GLONASS 受信数		現在の GLONASS 受信数
	107	QZSS 受信数		現在の QZSS 受信数
	108	SBAS 受信数		現在の SBAS 受信数
その他	109	OFF		項目を表示しません
	110	カレンダー		カレンダー
	111	バッテリー電圧 ^{※4}	要	現在のバッテリー電圧値を表示します
	112	バッテリー電流 ^{※4}	要	現在のバッテリー電流値を表示します
HV	113	HV システムパワー ^{※2}	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	114	HV Fr モータパワー ^{※2}	要	フロントモーターの出力を表示します。
	115	HV Rr モータパワー ^{※2}	要	リヤモーターの出力を表示します。
	116	HV Rr トルク配分 ^{※2}	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	117	HV バッテリー電圧 ^{※2}	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	118	HV バッテリー電流 ^{※2}	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	119	HV 補機バッテリー電圧 ^{※2}	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	120	HV 補機バッテリー電流 ^{※3}	要	HV 補機バッテリーの電流を表示します。
	121	HV 全電池容量 ^{※2}	要	バッテリーの充電率を表示します。
	122	HV エンジンパワー ^{※2}	要	エンジンの出力を表示します。
	123	HV 昇圧後電圧 ^{※2}	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	124	HV アクセル開度 ^{※2}	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。 ※ アクセルペダルを踏んでいなくても、0%にならない場合があります。
	125	HV エアコン消費電力 ^{※2}	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	126	HV ジェネレータ発電量 ^{※2}	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	127	HV 滑空 ^{※2}	要	モーター/エンジンで駆動している時は「+」、 電力を再生している時は「-」で表示します。

※ 1：ハイブリッド車に別売品の OBD II アダプター (OBD-HVTM、OBD12-M Ⅲ) を装着時のみ項目名が切り替わります。
今回アイドル停止時間→今回エンジンストップ時間
最小アイドル停止時間→最小エンジンストップ時間
最大アイドル停止時間→最大エンジンストップ時間
アイドリング停止回数→今回エンジンストップ回数
0-10 秒停止回数→ 0-10 秒エンジンストップ回数
10-20 秒停止回数→ 10-20 秒エンジンストップ回数
20-30 秒停止回数→ 20-30 秒エンジンストップ回数
30 秒以上停止回数→ 30 秒以上エンジンストップ回数
0-10 秒停止比率→ 0-10 秒エンジンストップ比率
10-20 秒停止比率→ 10-20 秒エンジンストップ比率
20-30 秒停止比率→ 20-30 秒エンジンストップ比率
30 秒以上停止比率→ 30 秒以上エンジンストップ比率

※ 2：ハイブリッド車に別売品の OBD II アダプター (OBD12-M Ⅲ、OBD-HVTM) を装着時のみ選択できます。
※ 3：ハイブリッド車に別売品の OBD II アダプター (OBD12-M Ⅲ) を装着時のみ選択できます。
※ 4：別売品の OBD II アダプター (OBD12-M Ⅲ) を装着時のみ選択できます。

注 1：「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
注 2：「OBD 設定」→「オールクリア」でのみリセットします。「平均クリア」ではリセットされません。



2. モード

本機には、プリセットが 4 種類とマニュアルモードが用意されています。お好みに応じて変更してください。

初期設定は「ノーマルモード」に設定されています。

ノーマルモード：バランスを重視したモードです。

ミニマムモード：レーダー、無線、GPS すべてにおいて、最低限の項目だけを ON に設定します。

スペシャルモード：取締に関する項目を重視した内容に設定します。

オールオンモード：すべての機能を ON にします。

マニュアルモード：それぞれの機能を個別に設定します。

設定

かんたんモード切替

● 通常モード

待受

モード

警報

画面

音声

システム

OBD

設定終了

モード

ノーマル ★

ミニマム

スペシャル

オールオン

マニュアル

★：初期値

■ レーダーの設定

	画面表示	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更できます。	
i キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	58
反対キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	58

■ 無線の設定

	画像表示	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更できます。	
カーロケ無線		ON	ON	ON	ON	ON	48
取締無線		ON	ON	ON	ON	ON	48

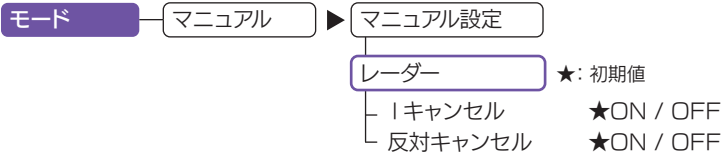
■ GPS の設定

	アイコン	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更できます。	
オービス	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	ON	43
直前速度告知	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	ON	43
制限速度告知	LC LH H RD	ON	ON	OFF	ON	ON	43
カメラ位置告知	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	ON	43
通過告知		ON	ON	ON	ON	ON	43
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	ON	43
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON	43

	アイコン	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。				設定内容を変更できます。	
取締エリア		L 3 以上	OFF	全て	全て	L 3 以上	44
検問エリア		L 3 以上	OFF	全て	全て	L 3 以上	44
交差点監視ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	44
信号無視抑止システム		OFF	OFF	ON	ON	OFF	44
高速交通警察隊		ON	OFF	ON	ON	ON	44
駐禁監視エリア		ON	OFF	ON	ON	ON	45
一時停止注意ポイント		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	45
N システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	45
交通監視システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	45
警察署		OFF	OFF	ON	ON	OFF	45
交番		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	45
事故多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	46
車上狙い多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	46
踏切		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	46
急(連続)カーブ		OFF	OFF	ON	ON	OFF	46
分岐合流ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	46
ETC レーン		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	46
SA(サービスエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	46
PA(パーキングエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	46
ハイウェイアシス		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	46
スマート IC		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	46
ガステーション		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	46
トンネル		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	46
ハイウェイラジオ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	47
県境		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	47
道の駅		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	47
VIEWPOINT パーキング		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	47
駐車場		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	47
消防署		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	47
公衆トイレ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	47
ゾーン 30		ON	OFF	ON	ON	ON	45
ラウンドアバウト		OFF	OFF	ON	ON	ON	45

■ マニュアルモードでのレーダー設定

設定メニューにそって、レーダーの各種設定変更ができます。
・「通常モード」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



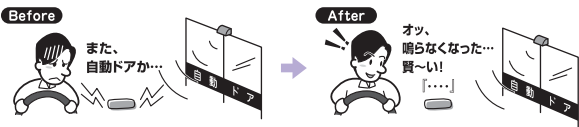
● アイキャンセル(i キャンセル) [特許 第 3902553 号、第 4163158 号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPS の位置情報を自動で登録し、2 回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

- ※ 登録数は、アイキャンセル、マイエリア (P.34)、マイキャンセルエリア (P.32) の合計で 10,000 箇所まで可能です。
- ※ 10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

● アイキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1 回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2 回目]



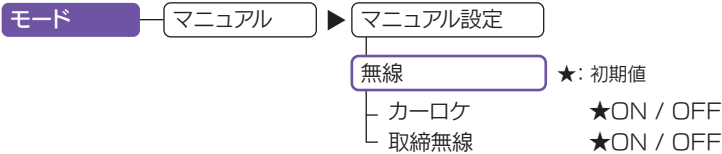
- ・ GPS 測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- ・ キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
- ・ 「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。
- ・ 自動登録したエリアは、「アイキャンセル」の設定や電源を OFF にしても記憶されています。
- ・ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」 (P.63) をご覧ください。

● 反対キャンセル (反対車線オービスキャンセル機能)

GPS データに登録されている新 H システムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

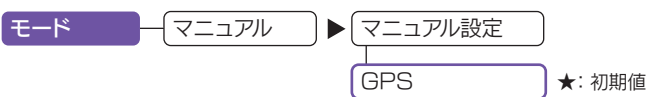
■ マニュアルモードでの無線設定

設定メニューにそって、無線の各種設定変更ができます。
・「通常モード」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



■ マニュアルモードでの GPS 設定

設定メニューにそって、GPS の各種設定変更ができます。
・「通常モード」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



オービス	★ON / OFF	警察署	ON / ★OFF
直前速度告知	★ON / OFF	交番	ON / ★OFF
カメラ位置告知	★ON / OFF	事故多発エリア	ON / ★OFF
通過告知	★ON / OFF	車上狙いエリア	ON / ★OFF
制限速度告知	★ON / OFF	急カーブ	ON / ★OFF
速度超過告知	★ON / OFF	分岐合流ポイント	ON / ★OFF
取締エリア (ALL / LVL2 ~ 5 以上 / OFF)	★LV.3 以上	踏切	ON / ★OFF
検問エリア (ALL / LVL2 ~ 5 以上 / OFF)	★LV.3 以上	ETC レーン	ON / ★OFF
制限速度切替告知	★ON / OFF	SA(サービスエリア)	ON / ★OFF
交差点監視ポイント	ON / ★OFF	PA(パーキングエリア)	ON / ★OFF
信号無視抑止	ON / ★OFF	ハイウェイオアシス	ON / ★OFF
高速交通警察隊	★ON / OFF	スマート IC	ON / ★OFF
駐禁監視エリア	★ON / OFF	ガソリンスタンド	ON / ★OFF
一時停止注意	ON / ★OFF	トンネル	ON / ★OFF
N システム	★ON / OFF	ハイウェイラジオ	ON / ★OFF
交通監視システム	★ON / OFF	県境	ON / ★OFF
		道の駅	ON / ★OFF
		VIEW POINT パーキング	ON / ★OFF
		駐車場	ON / ★OFF
		消防署	ON / ★OFF
		公衆トイレ	ON / ★OFF
		ゾーン 30	★ON / OFF
		ラウンドアバウト	★ON / OFF

3. 警報

設定メニューにそって、警報設定の各種設定変更ができます。

警報 ★: 初期値



■ 受信感度モード

レーダー受信感度を選択できます。

- 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

「シティ」・「エクストラ」

受信感度		走行環境や条件
高い ↑	エクストラ	郊外や高速道路
低い	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS 測位機能（本機が別売品の OBDⅡ アダプター (P.12) で接続されている場合は、OBDⅡ 車速検知) により AAC (不要警報カット) や ASS (最適感度選択) がはたります。

AAC (不要警報カット)	走行速度が時速 30km 未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。
ASS (最適感度選択)	走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

「AAC/ASS の動作」

- 電源 ON 後、GPS 測位するまでの間はエクストラになります。
- 走行中に GPS 測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でエクストラに変化します。（本機が別売品の OBDⅡ アダプター (P.12) で接続されている場合を除く。）

走行速度	受信感度	警報状態
0km ～ 29km		警報しない
30km ～ 39km	シティ	警報する
40km ～ 79km	エクストラ	

■ 道路選択

GPS 警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」から選択できます。

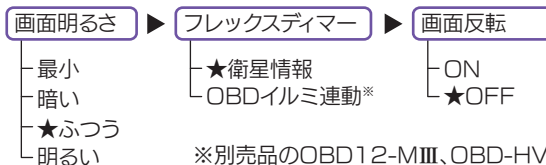
- GPS54 識別警報のハイウェイオアシスは「一般道」に設定された場合も GPS 告知されます。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート	走行道路（一般道か高速道）を GPS の位置情報で自動的に識別します。一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 - 一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道／高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 - GPS 測位が困難な状況では、正しく識別できないことがあります。 - 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 - 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

4. 画面

設定メニューにそって、画面の各種設定変更ができます。

画面 ★: 初期値



※別売品の OBD12-MⅢ、OBD-HVTM を接続すると選択可能になります。
※OBDイルミ連動にしてもイルミ通信ができない車は選択できません。適応車種については、店頭もしくは弊社ホームページの OBDⅡ アダプター適応表にて確認ください。

■ 明るさ

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の 4 段階で切り替えることができます。

■ フレックスディマー

画面の明るさの調整方法を「衛星情報」か「OBD イルミ連動」から選択します。

初めて OBDⅡ アダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) で接続し、本機を取り付けた場合などに [OBD イルミ連動] が表示されませんが、イルミ信号を受信すると表示されます。

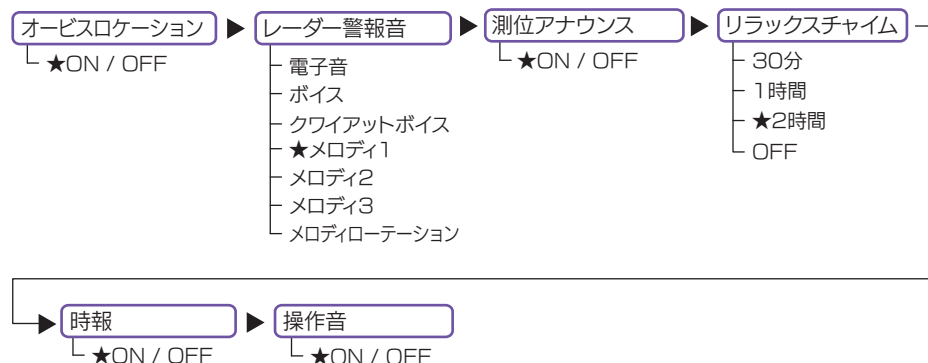
■ 画面反転

「ON」に設定すると、画面表示の上下を反転できます。

5. 音声

設定メニューにそって、音声の各種設定変更ができます。

音声 ★: 初期値



■ オービスロケーション

オービスの手前 500 m で目標物（交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど）と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

■ レーダー警報音

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約 10 秒に 1 回ボイスで警報します。
メロディ 1	オリジナルメロディ パターン 1（メロディ 1）で警報します。
メロディ 2	オリジナルメロディ パターン 2（メロディ 2）で警報します。
メロディ 3	オリジナルメロディ パターン 3（メロディ 3）で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3 曲のメロディアラーム（メロディ 1 → メロディ 2 → メロディ 3 の順）で警報します。

■ 測位アナウンス

「測位アナウンス」の ON/OFF が選択できます。ビルの谷間など衛星の電波の受信状態が良くない場合、『衛星を受信できません』『衛星を受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源を ON にしてから、しばらく衛星を受信できない場合『衛星をサーチ中です』とお知らせします。

■ リラックスチャイム

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源 ON 後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています、休憩しませんか？』とお知らせします。

■ 時報

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。「午前(午後)〇〇時です」。

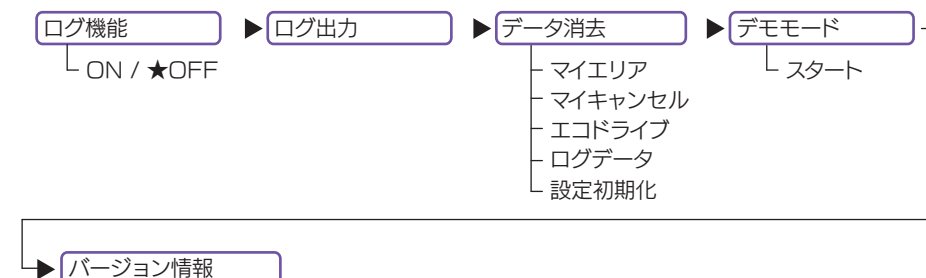
■ 操作音

「ON」に設定すると、操作時の確認音が出ます。

6. システム

設定メニューにそって、システム設定の各種設定変更ができます。

システム ★: 初期値



■ ログ機能

「ON」に設定すると、約 20.5 時間分の走行データを記録できます。(P.72)

※ 測位状況および走行の状況により異なります。

■ ログ出力

ログ機能で記録した走行データを別売品の microSD カードにコピーします。

・ スタートを選択するとコピーを開始します。

■ データ消去

「マイエリア」「マイキャンセル」「エコドライブ」「ログデータ」のデータを消去・クリアできます。また、「初期化」すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

・ 消去したい項目（マイエリア、マイキャンセル、エコドライブ、ログデータ）を選び、「はい」を選択するとデータが消去・クリアされます。

・ いったん消去・クリア・初期化すると、元に戻せませんのでご注意ください。

・ 本機に登録されているオービス等の GPS データが消去されることはありません。

・ OBD II アダプターより取得したデータは削除されません。OBD の項目のオールクリアでデータ消去を行ってください。

■ デモモード

レーダー受信や GPS 警報などの音声や画面表示を実演できます。

・ スタートを選択するとデモモードが始まります。

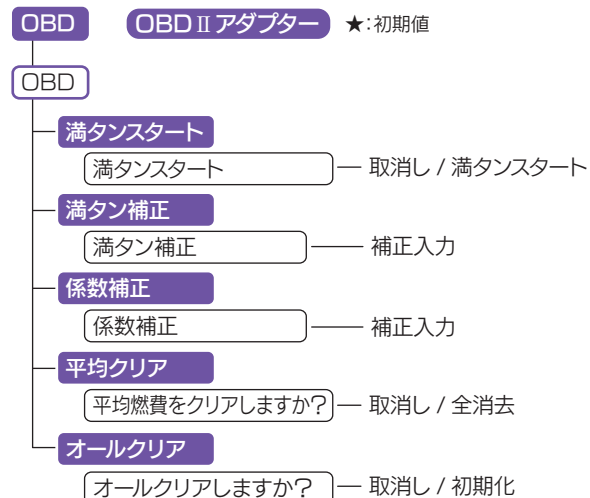
・ デモモード中にリモコンを操作するとデモモードは終了します。

■ バージョン情報

本体バージョン（ソフトウェアのバージョン）と「コンテンツバージョン（登録されている GPS データ情報）」が表示されます。

7. OBD

設定メニューにそって、OBD 設定の各種設定変更ができます。



■ OBD

ご購入状態のままでは走行距離 / 給油量で計算した燃費(実燃費)と表示部に表示する燃費に誤差が発生しています。「満タンスタート」「満タン補正」、「係数補正」を行うことで、平均燃費数値の精度を高めることができます。また、「平均クリア」を行うと、画面内の平均燃費の数値をリセットし、「オールクリア」を行うと、レーダー探知機機能の OBD II アダプターから受け取った車両に関連する数値をリセットします。

■ 満タンスタート (P.65)、満タン補正 (P.66)

実走行による走行距離・給油量により燃費数値の精度を高めます。この手順で取得される補正係数は本機に自動登録されます。一度行えば、給油時に同じ手順を繰り返す必要はありません。

■ 係数補正 (P.68)

係数補正は、燃費計算を行う上での OBD 情報の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、「オールクリア」をした後でもこれまでの燃費計算に戻すことができます。

また、すでに OBD II アダプター対応の弊社製品をお使いの場合、違う機種に買い替えた場合など係数補正を行うことにより「満タンスタート・満タン補正」が不要になります。

■ 平均クリア

平均クリアは、画面内の「平均燃費」の項目をリセットできます。

「満タン補正」の直後に行くと、これまでの平均燃費がクリアされることによって、新たに計算を開始させることができます。(平均クリアを行っても補正係数はクリアされません。)

■ オールクリア

オールクリアは、OBD II アダプターから受け取った車両に関連するレーダー探知機内の数値をリセットします。(車両側 OBD II に影響はありません。)

オールクリアを行うと、燃費の補正係数もクリアされるので、「満タンスタート・満タン補正」または「係数補正」を行う必要があります。行わないと正確な燃費が表示されません。そのため、オールクリアを行う前に、係数補正の画面で距離係数と燃料係数を確認し、メモしておくことをおすすめします。

※ オールクリアを行い、初期値となった数値を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

8. 満タンスタート

※ 車両が停止した状態で操作してください。

8-1 満タン給油をし、油面の位置を覚える



※ 次回「満タン補正」の給油時に同量の燃料を給油するために油面を覚えます。

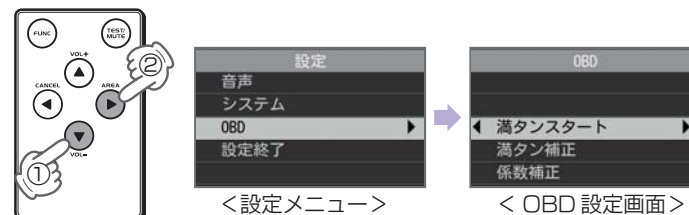
※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

8-2 リモコンの[MODE]ボタンを押す

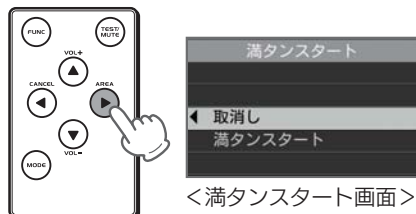


設定メニューを表示させる。

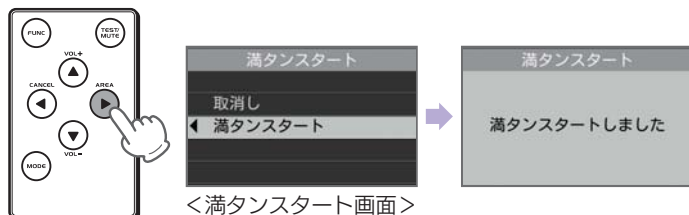
8-3 [▼]ボタンを押し、「OBD」項目で[▶]ボタンを押す



8-4 「満タンスタート」の項目で[▶]ボタンを押す



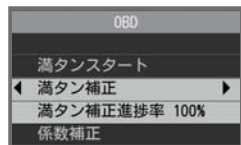
8-5 [▼]ボタンを押し、「満タンスタート」の項目で[▶]ボタンを押す



画面に「満タンスタートしました」と表示され数秒後 OBD 設定画面に戻ります。

※ [▶] ボタンの代わりに [TEST/MUTE] ボタンでも決定できます。

8-6 車両のトリップメーターをリセットし、「満タン補正」項目内の「満タン補正進捗率」が 100% になるまで走行する



※ 適当な間隔で「OBD」画面をご確認いただき、満タン補正進捗率が 100% になるまで走行してください。(点灯したまま長く走れば、それだけ補正精度が向上します。)

9. 満タン補正

満タン補正進捗率が 100% に達したら、再度満タン給油をしてください。

9-1 前回給油時の油面位置まで給油する

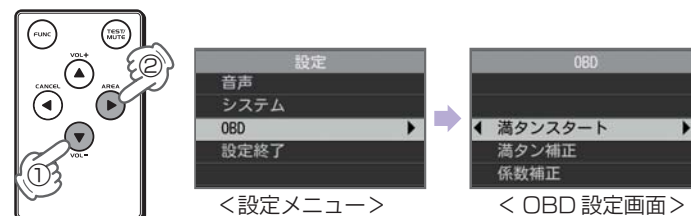


※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。前回給油時の燃料の油面位置まで給油してください。(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

9-2 リモコンの[MODE]ボタンを押す



9-3 [▼]ボタンを押し、「OBD」項目で[▶]ボタンを押す



9-4 [▼]ボタンを押し、「満タン補正」項目で[▶]ボタンを押す



9-5 [▲][▼]ボタンを押し、距離補正する



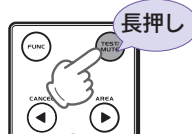
距離補正が完了したら [▶] ボタンを押す。

9-6 [▲][▼] ボタンを押し、燃料補正する

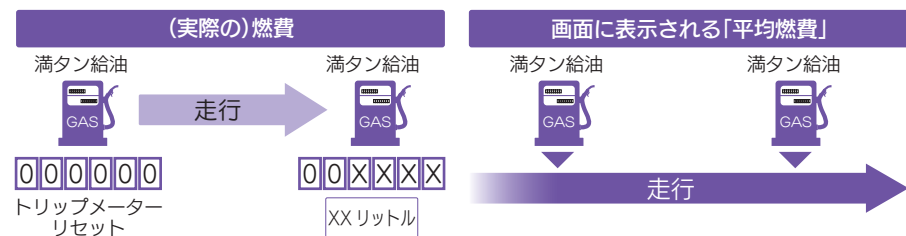


燃料補正が完了したら [▶] ボタンを押す。

9-7 各補正が完了したら [TEST/MUTE] ボタンを長押しし終了する



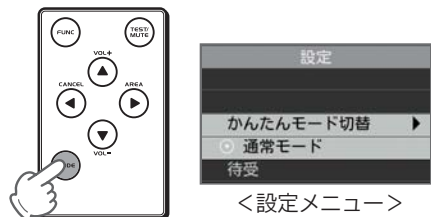
実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するものではありません。



10. 係数補正

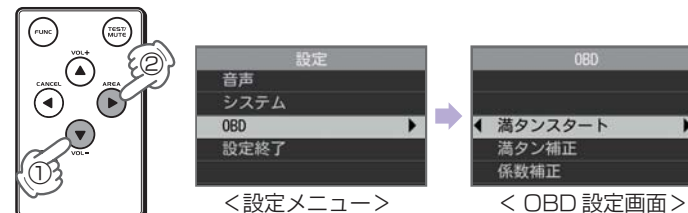
※ あらかじめ「満タンスタート・満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限りです。
※ 他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

10-1 リモコンの[MODE]ボタンを押す



設定メニューを表示させる。

10-2 [▼]ボタンを押し、「OBD」項目で[▶]ボタンを押す



10-3 [▼]ボタンを押し、「係数補正」項目で[▶]ボタンを押す

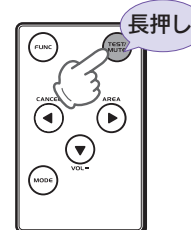


10-4 「距離係数」と「燃料係数」の数値を入力します。



各補正が完了したら [▶] ボタンを押す。

10-5 各補正が完了したら [TEST/MUTE] ボタンを長押しし終了する



かんたんモード

本機の設定がかんたん設定のみとシンプルになります。詳細に設定したい場合は、通常モードで設定してください。(P.50)

※「通常モード」から「かんたんモード」に切り替えると、かんたん設定にない項目(「明るさ」「レーダー警報音」以外)は初期値で固定になります。(P.28)

※「通常モード」「かんたんモード」の共通の項目(「明るさ」「レーダー警報音」)は、設定を引き継ぎます。

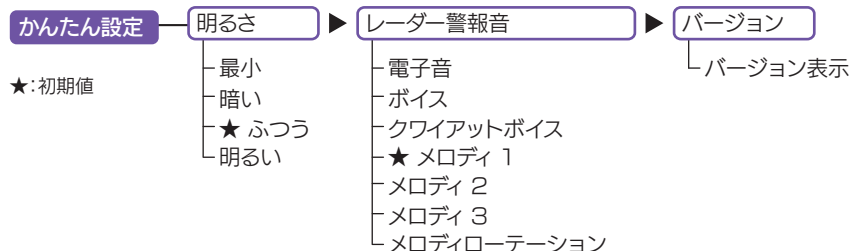
リモコンの[MODE]
ボタンを押す

設定	
かんたんモード切替	… P.49
かんたん設定	… 「1.かんたん設定」
OBD*	… P.64
設定終了	… 設定を終了し、待受け画面に戻ります。

設定	
かんたんモード切替	▶
かんたんモード	●
かんたん 設定	

※別売品のOBD IIアダプターの接続が必要です。

1. かんたん設定



■ 明るさ

画面表示の明るさを[最小][暗い][ふつう][明るい]の4段階で切り替えることができます。初期値は[ふつう]です。

■ レーダー警告音

レーダー波受信時の警告を電子音、ボイス、メロディで選択できます。初期値は[メロディ 1]です。

■ バージョン

本体バージョン(ソフトウェアのバージョン)とコンテンツバージョン(登録されているGPSデータ情報)が表示されます。

ity.MAP サービスを活用する

1. 携帯電話などで地図を閲覧する
2. ログ機能(P.72)
3. オービス・取締り系&コンテンツダウンロード(P.73)

1. 携帯電話などで地図を表示する

■ 今すぐ地図表示サービス(無料)

本機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

- ・通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- ・一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

<手順>

- ① リモコンの[FUNC]ボタンを「FUNC長押し ityMAPを表示」と表示されるまで数回押し、表示されたら[FUNC]ボタンを長押しします。
- ② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。

携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

■ 地図閲覧サービス(無料)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図を表示します。

- ・通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- ・一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

<手順>

- ① 携帯電話専用サイトにアクセスする。
<http://www.yupiteru-itymap.com/>
- ② リモコンの[FUNC]ボタンを「FUNC長押し ityMAPを表示」と表示されるまで数回押し、表示されたら[FUNC]ボタンを長押しします。
- ③ 携帯電話に緯度(N)・経度(E)を入力する。

携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

● PC専用サイト

<http://www.yupiteru-itymap.com/pc/>



詳しくは、弊社ホームページ「ity. MAP サービス」(<http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html>)を参照ください。

2. ログ機能[特許出願中]

ログ機能を ON に設定すると、走行データ(約 20.5 時間分)を本機に記録します。記録したデータは、市販品の microSD カードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認できます。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※ 下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販品のデータロガーでの動作確認は行っておりません。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

※ 測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。

● 下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- ・ OS
Microsoft Windows 7 (32bit 版 /64bit 版)、Vista (32bit 版 /64bit 版)、XP (32bit 版) ※ 64bit 版は未対応、2000。
- ・ .NET Framework2.0 以上がインストールされていること。 .NET Framework2.0 以上がインストールされていない場合は、Microsoft 社のホームページよりダウンロードしてください。

● ご用意いただくもの。

- ・ SD カードリーダー (使用中の microSD カード対応のもの)
- ・ Google より Google Earth をダウンロードしてください。
- ・ 弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp>) をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト (YP_LogDataConvert.exe) をダウンロードしてください。

1. ログ機能を ON にする

システム設定のログ機能 (P.63) を ON にすると走行データが記録されます。

- ・ 非測位時、時速 10km 未満の場合は記録されません。
- ・ ログの残量表示は「設定」→[システム]→[ログ機能]の画面下にパーセント表示されます。
- ・ 記録容量が 100% になった場合は、自動的にログ機能を OFF にし、100% の表示を残します。
- ・ 記録容量が 100% になっている場合は、ログ機能を ON にすることはできません。
- ・ ログ機能 ON 中は常に走行データを記録します。
日時別の保存や管理は行っておりません。
- ・ 記録容量が 100% になり、ログ機能が OFF になっても、データ消去 (P.63) を行うまで、100% の表示は残ります。
- ・ 走行記録を消去する場合は、データ消去 (P.63) を行ってください。また必要に応じ、事前に走行データを下記手順で microSD カードにコピーしてください。

2. 走行データを microSD カードにコピーする

リモコンで操作を行ってください。

- ① [MODE] ボタンを押し「設定モード」にする。
- ② 「システム」を選択します。
- ③ 「ログ出力」を選択します。
- ④ [▶] ボタンを押します。

・ microSD カードへコピーを行ったあとも、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、「データ消去」を行ってください。(P.63)

3. パソコンで走行軌跡を確認する

- ① 走行データをコピーした microSD カードをパソコンに接続する。
 - ② YP_LogDataConvert.exe(コピテル ログデータコンバート) を起動する。
パソコン画面上の「開く」ボタンをクリックし、microSD カードの走行データ (* .Log) を選択する。
 - ③ 「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。
 - ④ 保存したファイルを開くと、Google Earth の画面上に走行軌跡が表示されます。
- ※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。
- ・ 必要に応じ、microSD カード内にコピーした走行データ (* .Log) を削除する場合は、他のデータを削除しないようにご注意ください。

3. 各種情報を表示する

弊社ホームページより、オービス&コンテンツデータをダウンロードして SD カードに保存するか、市販品の microSD カードを利用すると、レーダー探知機機能が最新の情報に更新されます。

■ オービス・取締り系&コンテンツデータ更新

パソコンでのダウンロード、SD カードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスでレーダー探知機機能のオービス・取締り系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<https://ity.yupiteru.co.jp/>

パソコンでのダウンロード、レーダー探知機用 SD カードをお送りするお届けプランをご利用の際には、
下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ / POWERED BY Yupiteru
<https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールをお願いします。

◆コピテル ity.クラブ 窓口

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

 **0120-958-955**

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

故障かなと思ったら

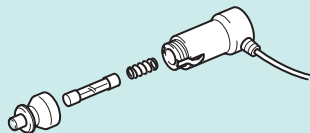
修理をご依頼になる前に、もう 1 度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談センターにご相談ください。

電源が ON にならない

- ☐ 電源スイッチが ON になっていますか。



- ☐ シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。(P.23)
切れている場合は、同じ容量の新しいヒューズと交換してください。



- ☐ シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2～3 回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。



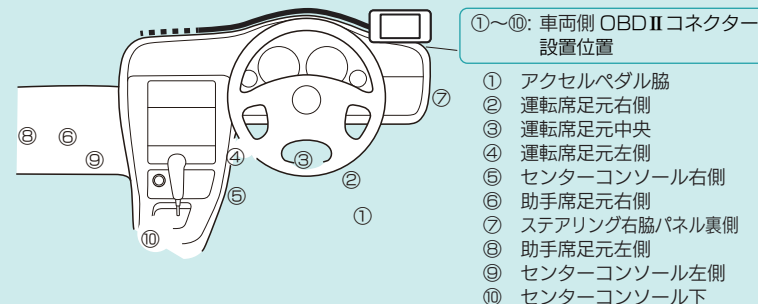
※初めて OBD II アダプターを車両に取り付ける場合は、本機の起動に数分かかることがあります。

電源が OFF にならない

- ☐ シガーライターソケットの電源が、イグニッションの ON/OFF と連動していない車両があります。
本機の電源スイッチで電源を OFF にしてください。
- ☐ OBD II アダプター取り付け時はイグニッションの OFF から本機の電源が OFF になるまでに数秒から数十秒かかります。
OBD II アダプターで接続した場合は、本機の電源スイッチで電源を OFF にしないでください。

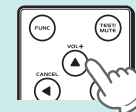
OBD II 接続中に突然電源が OFF になった

OBD II アダプターのコネクターが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクターが緩むことがあります。



何も表示しない

- ☐ 「マナーモード」になっていませんか。
リモコンの [▲] ボタンを押して解除してください。



- ☐ 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。
リモコンの [◀][▶] ボタンを押して待受画面を変更してください。

音が出ない

- ☐ 音量「0」になっていませんか。
リモコンの [▲] ボタンを押して調節してください。

レーダー警報しない

- ☐ 電源が入っていましたか。

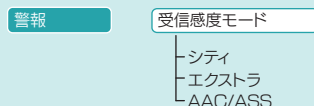


- ☐ 取締りレーダー波が発射されていましたか。
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。

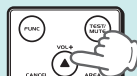


- ☐ マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。
- ☐ アイキャンセルされていませんか。

- ☐ 受信感度モードが「AAC/ASS」の場合、時速 30 km 未満のときは警報しません。(P.60)



- ☐ 「マナーモード」になっていませんか。
リモコンの[▲]ボタンを押して解除してください。



GPS 警報しない

- ☐ GPS 測位していましたか。
- ☐ 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

取締りもしていないのに警報機能がはたらく

取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。

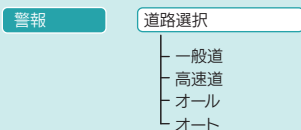
取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器
電波式の自動ドア、防犯センサー / 信号機の近くに設置されている車両通過計測器 / NTT のマイクロウェーブ通信回路の一部 / 気象用レーダー、航空レーダーの一部 / 他のレーダー探知機の一部
まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

警報の途中で警報音が小さくなる

レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、警報音が小さくなります。
(オートクワイアット) (P.40)

一般道を走行中に高速道のターゲットを GPS 警報する

- ☐ 「道路選択」の設定を「オール」でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。(P.61)



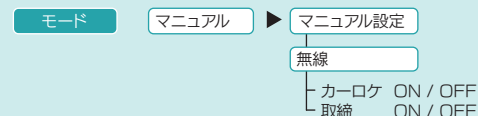
- ☐ 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- ☐ ハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合も GPS 告知されます。

ひんばんに無線警報する

放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車両やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

取締り現場なのに 350.1 MHz を受信しない

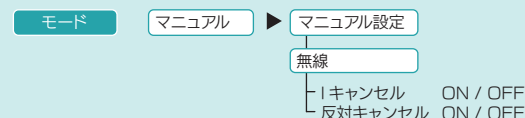
- ☐ モードを「ミニマム」に設定していませんか。
「ミニマム」では取締無線の警報を行いません。
- ☐ 「取締無線」を「ON」に設定していませんか。(P.59)



- ☐ 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。
連絡には 350.1 MHz の電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

誤警報がキャンセルされない

- ☐ 「アイキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。(P.58)



- ☐ スペシャルモードになっていませんか。
スペシャルモードは「アイキャンセル」の設定を「ON」にできません。
- ☐ GPS 測位していましたか。
- ☐ 新 H システムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- ☐ 取締りエリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

速度表示が車両の速度計と異なる

車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※OBD II 接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※補正機能はありません。

OBD II 接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。
(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)
例：リアモーターが無い車種ではリアモーターに関する項目は表示されません。
(表示が「- - -」になります。)

OBD II 接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも 0% にならない

車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が 0% にならないことがあります。

OBD II 接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

仕様

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)
消費電流	待機時：100mA 以下 (無線 OFF 時) 最大：240mA 以下
受信方式	[GPS 部] 26 チャンネル / パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
測位更新時間	最短 1 秒
表示部	液晶ディスプレイ ワイド 3.2 インチ
受信周波数	[GPS 部] 1.6GHz 帯 [レーダー部] X バンド / K バンド [UHF 部] 350.1 ～ 407.7MHz 帯
動作温度範囲	－ 20℃～＋ 85℃ 無線部：－ 10℃～＋ 60℃
外形寸法	本機：102(W) × 55(H) × 21(D)mm リモコン：34(W) × 56(H) × 5(D)mm ※突起部を除く
重量	本機：約 110g(接続ケーブル含む) リモコン：約 10g(電池含む)

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

アフターサービス

- **保証書(裏表紙参照)**
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- **保証期間**
お買い上げの日から 3 年間です。
- **対象部分機器**
本体(消耗部品は除く)
- **修理をご依頼されるとき**
「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- **保証期間中のとき**
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。
- **保証期間が過ぎているとき**
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター

- お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。
- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
 - 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
 - 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。
- 受付時間 9：00 ～ 17：00 月曜日～金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に
関する問い合わせ

 0120-998-036

ity.クラブやデータ更新に
関するお問い合わせ

 0120-958-955